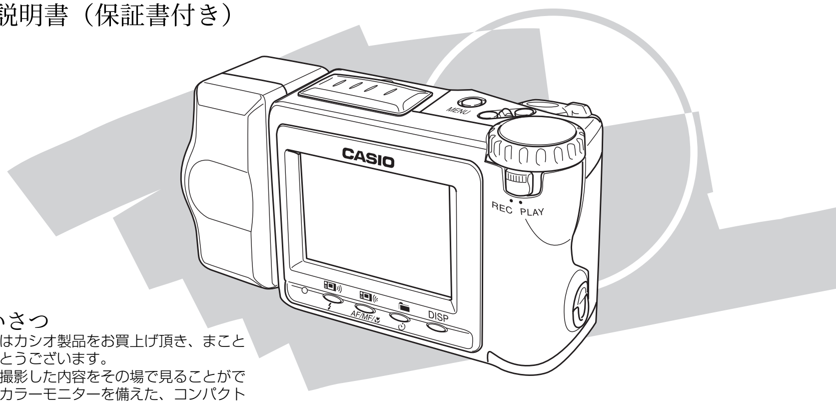
液晶デジタルカメラ　　P Z

QV-7000SX

取扱説明書（保証書付き）



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、本書とともにお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

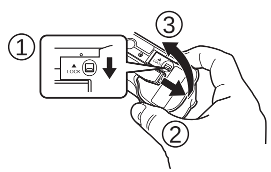
早分かりガイド

日時設定をする
☞ 27ページ参照

電池を入れる（詳細は23ページ参照）

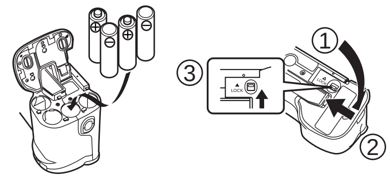
ご使用の前に、必ず付属の単３型の電池をセットしてください。

1



本体底面の【電池ブタ】の【ロックツマミ】を、①の矢印の方向にスライドさせ、次に【電池ブタ】を②の矢印の方向にスライドさせ、フタを開きます③。

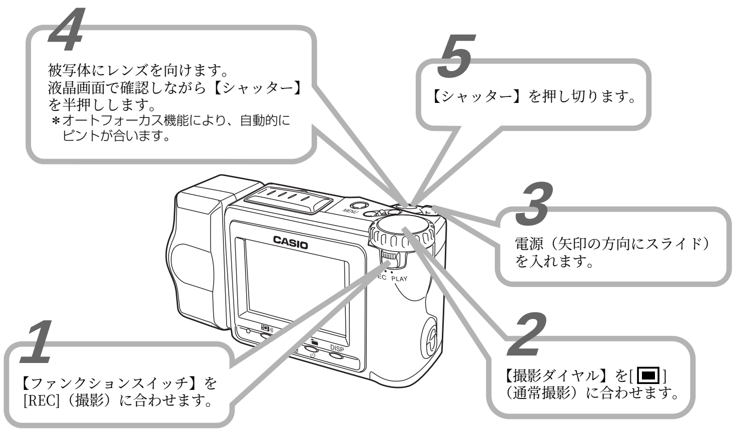
2



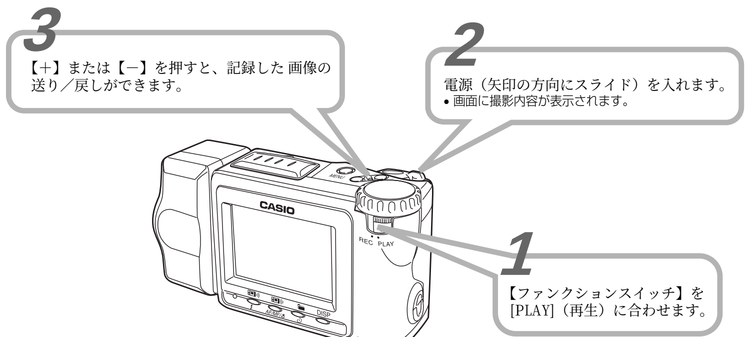
電池を図のようにセットした後、【電池ブタ】を①の方向に押しつけながら、②の方向にスライドして閉め、次に【ロックツマミ】を③の矢印の方向にスライドさせます。

- 必ず単３型のアルカリ電池および、リチウム電池、指定の充電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- 電池をセットしたら、必ず【ロックツマミ】を"▲"（ロック）側にスライドさせてください。
  確実にロックしないと【電池ブタ】が開いて、けがや事故につながるばかりでなく撮影データ等が破壊する場合があります。

撮影するには（詳細は30ページ参照）



撮影した内容を見るには（詳細は54ページ参照）



本機には、デモ用の画像が記録されている場合があります。
不要の場合は、削除してください。

早分かりガイド

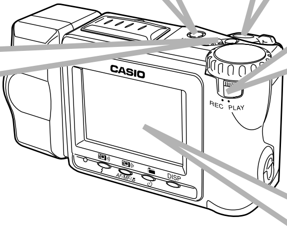
いらない画像を削除するには（詳細は75ページ参照）

3
【+】または【−】で“DELETE”を選び【シャッター】を押します。
↓
【+】または【−】で“PAGE”（1枚削除）を選び、【シャッター】を押します。
↓
【+】または【−】で削除する画像を選びます。

2
【MENU】を押します。

5
【シャッター】を押します（削除完了）。

1
【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。



4
現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。
＊削除を中止したい場合は、【MENU】を押してください。

削除の操作を終了するには、【MENU】を押します。

あらかじめご承知いただきたいこと

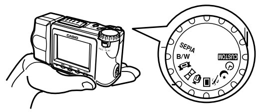
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- デジタルカメラを使って撮影したものは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

目　次

本機の特徴

光学ズーム撮影機能
光学2倍のズームレンズを採用。
デジタルズームと併用することで8倍までのズームが可能。

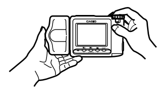
多岐な撮影種類を撮影ダイヤルで簡単に選択
スポーツ撮影／夜景撮影／セピア撮影／モノクロ撮影／タイトルなど



ムービー／パノラマなど多彩な機能を搭載
動画が撮影できるムービー機能、複数の画像をつなぎ合わせるパノラマ機能、さらに、一度に複数画面を一覧するマルチ画面表示などさまざまな表示機能を搭載しています。

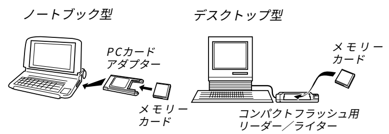
カスタム設定機能
各種の設定を記憶させ、デジタルカメラをカスタマイズすることができます。

撮影した画像を撮ったその場で確認できる
高精細（約12万画素）TFT方式の液晶画面は、2.5型を使用しており、明るい所でも見やすい低反射方式のものを採用しています。





メモリーカードをパソコンに接続
本機では、メモリーカード（コンパクトフラッシュカード）に画像データを保存しています。メモリーカードは、パソコンに接続して画像データを送受信することができます。



HTMLインデックスファイル
パソコン上で画像を見るときに、画像ファイルデータを一覧で見ることができます。

使用上のご注意

データエラーのご注意

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下のようなお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- 記録、通信中に電池をはずしたり、ＡＣアダプターをはずしたとき
- 撮影中などにメモリーカードを抜いたとき
- 電源をOFFにしたときに、【動作確認用ランプ】が点灯中に電池やACアダプター・メモリーカードを抜いたとき
- 通信中のケーブルはずれ
- 消耗した電池を使用し続けたとき
- その他の異常操作

このような場合カメラの操作ができなくなり、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願いいたします。

CF CF ERROR	画面に表示されるメッセージとその対処方法。（→ 103ページ）
⚠ SYSTEM ERROR CALL TECH SUPPORT	最寄りのカシオテクノ・サービスステーションへご連絡ください。（→ 109ページ）

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - －直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所。
  - －冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所。
  - －日中の車内、振動の多い場所。

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（109ページ）までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

撮影時の画面について

- 撮影時、液晶画面に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための「簡易画像」です。
  撮影した内容は、選択した画質モードで記録されており、出力画素数は確保されています。
  ＊ メモリーカードには綺麗な画像で記録されています。
- 撮影時の液晶画面の表示速度は、被写体の明るさにより異なる場合があります。

再生時の画面について

- 再生時、本機では【＋】／【－】によるページめくりの速度を高速化し、操作性の向上を図っています。
  このためページ送り後、瞬時に表示される画像は、一旦「簡易画像」になります。
  記録されている本来の「精細画像」は、ファイルサイズにもよりますが、約５秒後に表示されます。
  また、ビデオ出力時のみ「PREVIEW」の文字が右上に表示されます。
- 再生時に液晶画面に表示される範囲は、記録された画像よりもややせまく表示されます。

レンズについて

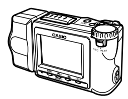
- レンズ面が指紋、ゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ部には触れないでください。
  レンズ部の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機では、沈洞式レンズを採用しています。
  電源のON／OFFやズーム操作などにより、レンズが移動しますので、無理な力を加えたり、レンズを下向きに伏せて机などの上に置かないでください。
- レンズが飛び出している状態で電池やACアダプターを抜かないでください。
  レンズが収納されず、故障の原因になります。

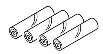
はじめに

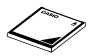
ここでは、本機をお使いになる前の付属品の確認、各部の名称、電源について説明しています。

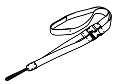
付属品の確認

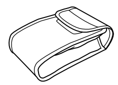
箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。


デジタルカメラ本体

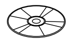

アルカリ電池（単３× ４）

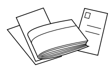

メモリーカード（8MB）
＊ 出荷時には、デジタルカメラ本体に装着されています。


ショルダー／ハンド２way ストラップ


ソフトケース

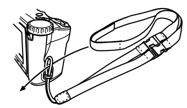

専用ビデオコード


パソコンリンクソフト（CD-ROM）


取扱説明書（保証書付き）
アンケートカード

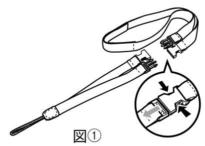
ストラップの取り付けかた

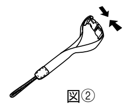
ショルダーストラップとハンドストラップに切り替え可能な２wayストラップです。
ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりと引っ張ります。



ハンドストラップとして使用する場合

ストラップの中間にあるバックル２ケ所を図①のようにはずし、図②のようにねじれないようにとりつけます。
バックルは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

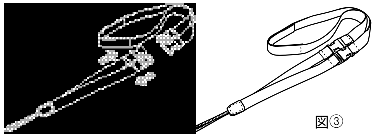

図①


図②

重要! カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。

ショルダーストラップとして使用する場合

肩パットが内側になるように気をつけて、図③のようにねじれないようにとりつけます。

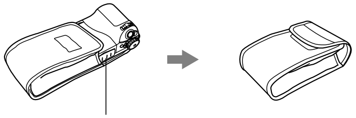


図③

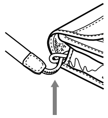
重要!
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- ストラップを首にかけたまま本機を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアに挟まったりして、故障やケガの原因となりますのでご注意ください。

ソフトケースの使いかた

ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



液晶面を下にする。

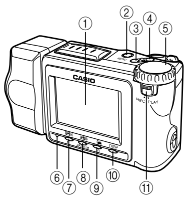


ソフトケースの落下を防止するために、ストラップを通します。

各部の名称

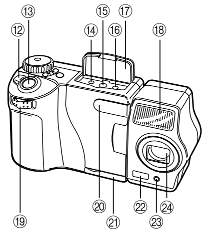
この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。
スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

後面部



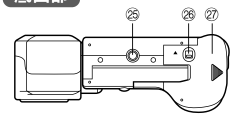
①【液晶画面】
②【MENU】
③【－】
④【＋】
⑤【撮影ダイヤル】
⑥【動作確認用ランプ】
⑦【 ⚡ 】／【 Tran-P送信 】（フラッシュ／Tran-P送信）
⑧【 AF/MF/ 】／【 Tran-P受信 】（フォーカスモード／Tran-P受信）
⑨【 セルフタイマー 】／【 フォルダー 】
⑩【DISP】
⑪【ファンクションスイッチ】

前面部



⑫【電源スイッチ】
⑬【シャッター】
⑭【外部電源端子】
⑮【ビデオ出力端子】
⑯【デジタル端子】
⑰【端子カバー】
⑱【フラッシュ】
⑲【ズームレバー】
⑳【IrDA送受信部】
㉑【メモリーカードカバー】
㉒【測距センサー】
㉓【調光センサー】
㉔【レンズ】

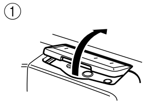
底面部



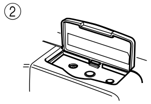
㉕【三脚穴】
㉖【ロックツマミ】
㉗【電池ブタ】

端子カバーの開きかた

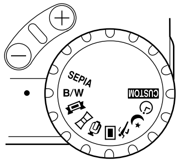
①



②



撮影ダイヤル部

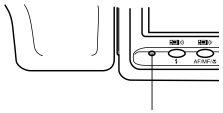


- CUSTOM カスタム設定 .... 省電力、ラストメモリーの設定をするときに合わせます（37ページ）。
- タイマー撮影 .... 時間を設定して撮影するときに合わせます（49ページ）。
- 夜景撮影 .... 夜景撮影するときに合わせます（46ページ）。
- スポーツ撮影 .... スポーツ撮影するときに合わせます（45ページ）。
- 通常撮影 .... 普通に撮影するときに合わせます（30ページ）。
- ムービー撮影 .... ムービー撮影するときに合わせます（42ページ）。
- パノラマ撮影 .... パノラマ撮影するときに合わせます（44ページ）。
- タイトル撮影 .... タイトル撮影するときに合わせます（65ページ）。
- B/W モノクロ撮影 .... モノクロ撮影するときに合わせます（48ページ）。
- SEPIA セピア撮影 .... セピア撮影するときに合わせます（47ページ）。

重要! ダイヤルがきちんと合っていないと画面に「DIAL」と表示されます。

動作確認用ランプについて

【動作確認用ランプ】 .... 撮影時は、点灯／点滅します。点灯／点滅する色によって下記の内容を表しています。



【動作確認用ランプ】

■撮影時

発光色	点　灯	点　滅
緑色	ピント合わせ完了	起動中／記録中
オレンジ色	露出警告	フラッシュ充電中
赤色	ピント合わせ不可／“ MEMORY FULL ”／フラッシュ充電不可	メモリーエラー

- 消灯は撮影可能を意味します。

■再生時

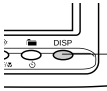
発光色	点　灯（ビデオコード接続時）	点　滅
緑色	再生中	起動中
赤色	バッテリー警告	

■電池警告時

赤色点灯後自動的に電源OFF

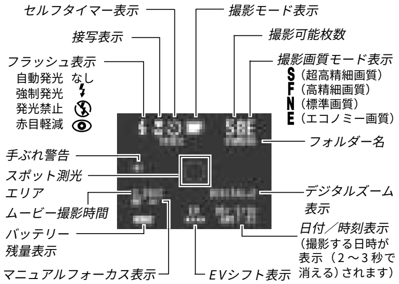
画面情報表示

【DISP】を押すと、画面にさまざまな情報を表示することができます。



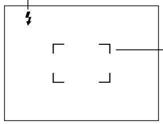
撮影モード時

撮影モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



シャッター半押し時

自動発光時にフラッシュ発光する場合はマークが表示されます



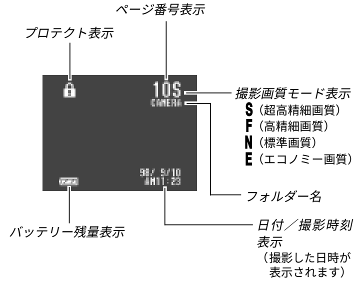
- ピント合わせ完了時：緑
- ピント合わせ不可時：赤／白

撮影モード表示

	通常撮影		パノラマ撮影
	ムービー撮影		タイトル撮影
	スポーツ撮影		夜景撮影
SEPIA	セピア撮影	B/W	モノクロ撮影
	タイマー撮影		

再生モード時

再生モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



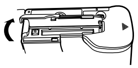
メモリーカードについて

本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード（コンパクトフラッシュカード）を使用しています。
メモリーカードは出荷時には装着された状態になっています。

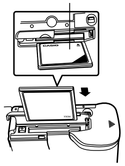
重要!
- メモリーカードの抜き差しの際は、電源を切った状態で行なってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがありますのでご注意ください。

メモリーカードを入れるには

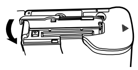
1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**



2. **メモリーカード表面の矢印を下にして、しっかり押し込みます。**

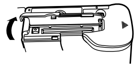


3. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**

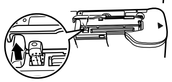


メモリーカードを取り出すには

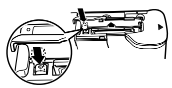
1. **【メモリーカードカバー】を開きます。**



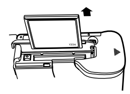
2. **イジェクトボタンを押します。**
- １回押すと、イジェクトボタンが飛び出します。



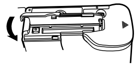
3. **イジェクトボタンを深く押し込みます。**



4. **メモリーカードを取り出します。**



5. **【メモリーカードカバー】を閉めます。**



参考 メモリーカードは、別売品のカシオ製コンパクトフラッシュカード（CF-4x<4MB>/CF-8x<8MB>/CF-15x<15MB>/CF-30x<30MB>/CF-48x<48MB>）をお買い求めください。

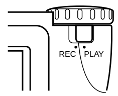
重要!
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないようにご注意ください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部内に入り込んだ場合は、本体の電源を切り電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- メモリーカードの挿入部を下にしたまま、カードを取り出さないでください。
メモリーカードが落下して、故障やデータが破壊する場合があります。

メモリーカードのフォーマット（初期化）

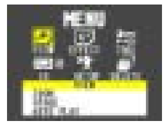
メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容をすべて消去することができます。
＊ 画像データにメモリープロテクトをかけていても、メモリーカードのフォーマットを行なうと、すべてのデータが消去されます。

重要! 一度メモリーカードをフォーマットしますと、二度とデータを元に戻すことはできません。
フォーマットの操作を行なう際は、本当にフォーマットしてもいいメモリーカードかどうかをよく確かめてから行なってください。

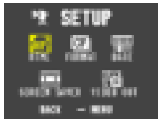
1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**



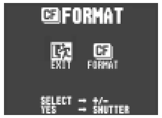
2. **【MENU】を押します。**



3. 【+】または【−】で"SETUP"を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【−】で"FORMAT"を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【−】で"FORMAT"を選び【シャッター】を押します。

メモリーカードの注意事項

- 本機はメモリーカードが装着されていないと画像が記録されません。必ずメモリーカードを装着してご使用ください。
- メモリーカードは必ずカシオ製コンパクトフラッシュカードを使用してください。
  他社のメモリーカードをお使いの場合の動作保証はできません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅（破壊）することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップされることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードエラーが発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作（103ページ）で復帰できますが、外出先などでこの操作を行なえない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。

メモリーカード内のフォルダーに関する注意事項

- 本機はメモリーカード内に、フォルダーが作られていない場合、自動的にフォルダー（ディレクトリ）を作成します。（68ページ）
- 1つのフォルダーに保存される画像は最大で250枚までです（カードの種類や画質によって異なります）。パソコン等で251枚以上画像を保存しても、本機では表示されません。
- ページ残量表示は、メモリーカード全体の容量と各フォルダー内の撮影可能枚数を比較して、低い値を優先させて表示します。
- デジタルカメラ内で作成される画像ファイル名は、
  日付（前5文字）+**3桁の連番**+**拡張子**(JPG)
  として名付けられます。

＜例＞

□□□□□001. JPG

日：01〜31
月：1〜9，A，B，C
　　　　　10月　11月　12月
年：98，99，00，01〜49
　　　　　2000年

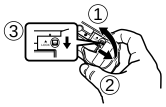
電源について

本機は、乾電池（単3型アルカリ電池および、リチウム電池）、別売の充電池または家庭用電源を利用できます。

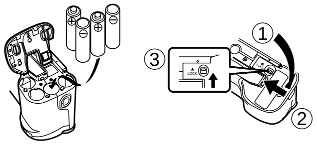
電池を入れるには

電池交換の際は、電源を切った状態で行なってください。

1. **本体底面の【電池ブタ】の【ロックツマミ】を、①の矢印の方向にスライドさせ、次に【電池ブタ】を②の矢印の方向にスライドさせ、フタを開きます③。**



2. **電池を図のようにセットした後、【電池ブタ】を①の方向に押しつけながら、②の方向にスライドして閉め、次に【ロックツマミ】を③の矢印の方向にスライドさせます。**



- 必ず単3型の指定電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- 電池をセットしたら、必ず【ロックツマミ】を"▲"（ロック）側にスライドさせてください。
  確実にロックしないと【電池ブタ】が開いて、けがや事故につながるばかりでなく撮影データ等が破壊する場合があります。

電池持続時間の目安

本機では乾電池（単3型アルカリ電池及びリチウム電池）、指定の充電池が利用できます。
以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
単3型アルカリ電池　LR6	約 90 分	約 190枚撮影可能*1
単3型リチウム電池　FR6	約190分	約 590枚撮影可能*1

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フィルム（株）製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

■充電式電池のご利用について

充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池（NP-H3）をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セットBC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）NP-H3P4

重要!
- 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたりカメラの故障の原因となります。
- 本機では充電できません。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
ニッケル水素蓄電池 Ni-MH	約 110分	約 360枚撮影可能*1

参考
*1 連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに、各撮影につきズームレンズをテレ端〜ワイド端で1回動作させて撮影した場合の撮影可能枚数です。
フラッシュやズームの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。
各電池の特性の違いから電池残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

■電池を長持ちさせるために

フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュ【⚡】を押して発光禁止"Ⓢ"に設定してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。

電池使用時の注意事項



- ●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ●電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- ●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

電池残量／警告表示

本機の電池が消耗すると本機の画面左下のバッテリー残量表示が"▭"になります（画面情報表示時）。そのまま使用し続けると画面中央にバッテリー警告"⊠"が表示され、自動的に電源が切れます。
速やかに4本とも新しい電池と交換してください。

オートパワーオフ機能（電池使用時のみ）

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、再生モード*は５分、撮影モード*では２分／５分／10分の設定ができます。設定は「カスタム設定」（37ページ）で行ないます。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

＊【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置にセットした状態を「撮影モード」、［PLAY］（再生）の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

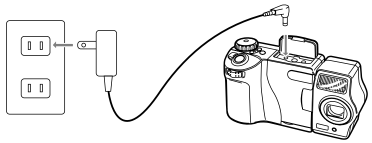
重要! 以下の状態では、オートパワーオフは働きませんので、ご注意ください。

- オートプレイ中（61ページ）
- 本機のデジタル端子や赤外線通信を通じて本機を外部のパソコンやプリンターなどと接続しており、外部機器で本機を操作しているとき（83〜85ページ）
- ACアダプターを接続しているとき

家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620J）をご利用ください。

＊ AD-C620Jは米国などAC100〜120Vの電源地域への旅行の際はそのままご使用になれます。



ACアダプター使用時の注意事項

禁止

- 表示された電源電圧（AC100〜120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。

日時設定について

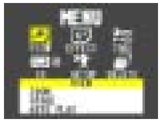
日付および、時刻を設定します。
この日時は、ファイル名やファイル情報、画像上に貼り付けられる「タイムスタンプ」などに利用されます。

重要! ご購入後に、日付および時刻が合っていることをご確認ください。

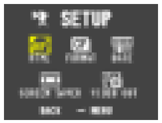
日付および時刻を設定する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

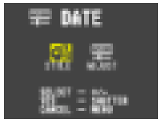
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【−】で“ SETUP ”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【−】で“ DATE ”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【−】で“ ADJUST ”を選び【シャッター】を押します。**



6. **時刻と日付を指定します。**

- 【＋】または【−】を押し続けて反転表示部分の数字などを変えて【シャッター】を押します。他の部分が網かけ状態になるので、同様に設定します。

7. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

＊【MENU】を押すとセットされます。

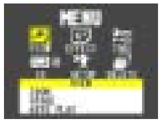
日付の表示スタイルを変更する

画面上での日時の表示方法を下記の３通りの中から選ぶことができます。

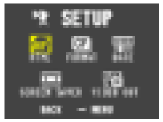
例）1999年5月12日
99/5/12、12/5/99、5/12/99と表示します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

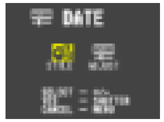
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【−】で“ SETUP ”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【−】で“ DATE ”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【−】で“ STYLE ”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【−】で日付のスタイルを選び【シャッター】を押します。**

操作のしかた

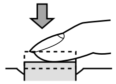
ここでは、本機の操作のしかたを詳しく説明します。撮影に際して調節のできる各項目、撮影した画像の見かたのさまざまなバリエーション、必要のない撮影内容の削除のしかたについて記載してあります。

撮影する

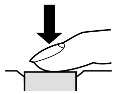
シャッターの押しかた

本機は、オートフォーカス機能により自動的にピントを合わせることができます。
ピントを合わせるときは、以下の方法で行なってください。

1. **【シャッター】を軽く押します（半押し）。**



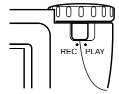
2. **【シャッター】を押します（押し切る）。**



基本的な撮影

最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

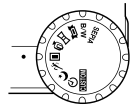
1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**



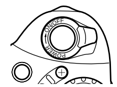
＊［REC］は撮影するときの位置（撮影モード）、［PLAY］は撮影した内容を見るときの位置（再生モード）です。

2. **【撮影ダイヤル】を［ ■ ］（通常撮影）に合わせます。**

- 【撮影ダイヤル】横の［ • ］に［ ■ ］（通常撮影）を合わせます。



3. **【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。**



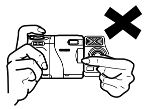
- 【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。

＊ 電源を入れると、通常撮影モードになります。
＊ 手順1と2は、どちらの操作を先に行なっても構いません。
＊ 電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。

4. **撮影する被写体にフレームを合わせて、【シャッター】を半押しします。**

- オートフォーカス機能により、自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。また、液晶画面上にもオートフォーカスフレームが緑色で表示されます。

＊ レンズと各センサーを指でふさがないようにご注意ください。



＊ 接写撮影したい場合は42ページの「マクロ撮影」を参照してください。

重要! オートフォーカスの苦手な被写体
- 階調のない壁などコントラストが少ない被写体
- 強い逆光のもとにある被写体
- 光沢のある金属など明るく反射している被写体
- ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
- カメラからの距離が異なるいくつもの被写体があるとき
- 暗い場所にある被写体
- デジタルズームで近距離撮影をするとき

左記のような被写体に対しては、ピントが合わず【動作確認用ランプ】が赤色に点灯することがあります。また、液晶画面上にもオートフォーカスフレームが赤色で表示されます。
このような場合には、フォーカスをマニュアルに切り替えて撮影してください（41ページ）。

5. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押し切ります。**

- 画質によって保存できる枚数が異なります（35ページの「画質モードの切り替え」を参照してください）。
- ピントが合っていない状態でも【シャッター】が切れます。
- 撮影された画像は「CAMERA」フォルダーに記録されます。（画像を格納するフォルダーを変更する場合は、50ページを参照してください。）

＊ 手ぶれを起こさないために、【シャッター】は静かに押してください。

撮影時の注意事項

- 動作ランプが緑色点滅している間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。動作ランプが緑色点滅している間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

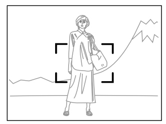
フォーカスロック撮影

撮影したい構図でオートフォーカスフレームに入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロック撮影を行ないます。

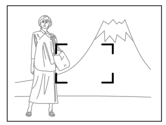
参考
- オートフォーカスフレームは、【シャッター】を半押ししたときにのみ表示されます。
- フォーカスロックと同時に露出もロックされます。

1. **ピントを合わせたい被写体をオートフォーカスフレーム内にとらえ【シャッター】を半押しします。**

- ピントが合うとオートフォーカスフレームが緑色になります。



2. **【シャッター】を半押ししたまま、撮影する構図にレンズを移動させます。**



3. **【シャッター】を押します。**

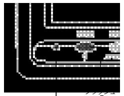
フラッシュ撮影

フラッシュを使った撮影ができます。
自動発光にすると、暗い場所で撮影するときに自動でフラッシュが発光します。

1.【⚡】を押します。

- 【⚡】を押すごとに、自動発光 → 強制発光"⚡"→ 発光禁止"⊘"→ 赤目軽減"◉"の順番で撮影状態が切り替わります。

＊ フラッシュの充電中は液晶画面が消え【動作確認用ランプ】がオレンジ色に点滅します。



【⚡】

【動作確認用ランプ】

画面表示	発光状態
表示なし	「自動発光」露出に合わせて自動的に発光します。
⚡	「強制発光」露出に関係なく強制的に発光します。
⊘	「発光禁止」露出に関係なく発光しません。
◉	「赤目軽減」プリ発光してから再度発光します。（人物を撮るときに目が赤くなることを軽減します。）

■手ぶれ警告について

フラッシュを発光禁止にしているときに、シャッタースピードが遅くなると、"✋"（手ぶれ警告）が液晶画面上に表示されます。

重要!
- "✋"（手ぶれ警告）が出たら、フラッシュまたは三脚を使用してください。
- 夜景撮影モード（46ページ）では"✋"（手ぶれ警告）は表示されません。

■フラッシュ発光表示について

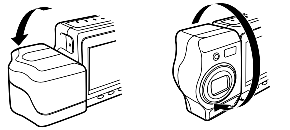
【シャッター】を半押ししたときに、これからフラッシュが発光する場合は、液晶画面上にフラッシュのアイコンが表示されます。

重要!
- フラッシュの発光部や調光センサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。
- フラッシュによる撮影距離は約0.7m～約２mの範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒～10秒程度かかります。
- ムービー撮影モードになっているときは、フラッシュは発光しません。このとき"⊘"マークが点滅します。

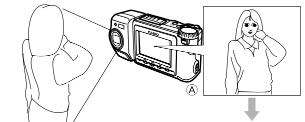
- 電池が弱ってくるとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき"⊘"マークが赤く点滅し、フラッシュが正常に発光せず適性な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。
- 被写体がカメラの方に視線を向けていない場合や被写体までの距離が遠い場合には、赤目軽減効果が現れにくい場合があります。
- 赤目軽減モードでは、露出に合わせて自動的に発光するため明るい場所でのフラッシュ発光はしません。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

レンズ部の回転

本機のレンズ部は回転する構造になっており、自由なアングルで被写体を捉えることができます。

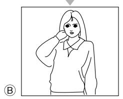


- レンズ部を手前に回転させた場合は、液晶画面に表示される映像は反転し鏡像（左右が逆の映像）となります。この状態で撮影を行なった場合、再生した映像は正像に戻ります。



Ⓐ

Ⓐ .... 撮影中に表示される映像
Ⓑ .... 撮影後に再生したときの映像



Ⓑ

重要!
- レンズ部は、回転範囲を越えて無理に回そうとしないでください。無理な力を加えると、レンズ部が折れるなど破損するおそれがあります。
- レンズ部のみを持って持ち運んだり、ふり回したりしないでください。
- 本機の保管時は、レンズ部は元の状態（レンズを液晶画面の反対側に向け、本体に対して傾きのない状態）に戻しておいてください。

画質モードの切り替え

本機は、撮影する内容に応じて、画質の切り替えができます。
画質モードの切り替えはメニュー設定画面で変更します。
詳しい操作方法は、50ページ「撮影メニュー」を参照してください。

それぞれの撮影可能枚数は以下の通りです。

画質表示	S	F	N	E
撮影画質	超高精細	高精細	標準	エコノミー
別売品の48MBメモリーカード使用時	88枚	123枚	206枚	340枚
付属の8MBメモリーカード使用時	14枚	19枚	33枚	55枚
ファイルサイズ	約500KB/枚	約350KB/枚	約200KB/枚	約112KB/枚
出力画素数 (pixels)	1280 x 960	1280 x 960	1280 x 960	640 x 480

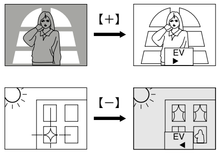
＊ 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため記録枚数は変化します。
＊ 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
＊ １つのフォルダーに保存される画像数に制限があるため（最大250枚）、上記の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります。
＊ ＨＴＭＬファイル作成機能を"ＯＮ"にしている場合、上記撮影可能枚数と異なることがあります。

露出補正

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行なっています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

1.【＋】または【－】を押すと露出補正（EVシフト）され、画面にバーグラフが表示されます。

【＋】....... 液晶画面が明るくなり、室内などの暗い所や逆光での撮影時に適します。
【－】....... 液晶画面が暗くなり、晴天の屋外などでの撮影に適します。



＊ 補正値の限界になるとバーグラフが赤の表示になります。

2. 適切な明るさになったら、【シャッター】を押してください。

参考
- 電源を入れた時点では、露出補正値は０になっています。
- 露出補正値は、【＋】または【－】を押すごとに、0.25EV刻みで、－2EV～+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は、【シャッター】を押すごとにリセットされて０に戻ります。【シャッター】を押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、バーグラフ表示を消します（パノラマ撮影時は、ＥＶシフトは固定されます）。
- ＥＶシフトを設定すると、その時点でのシャッタースピードと絞りに固定されます。

重要! 露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では、－2EV～+2EVの範囲内でも変化できない場合があります。

カスタム設定

省電力モードの設定や、各種撮影機能の状態を記憶させることができます。

省電力（POWER SAVE）設定

電池の消耗を抑えるために、以下の２通りの設定ができます。

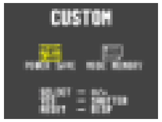
スリープ .... 撮影モード時に一定時間操作をしないと、液晶画面をOFFにする機能です。
(SLEEP)
スリープ中に【シャッター】を押すと、スリープ解除してすぐに撮影できます。
スリープに移行するまでの時間が、30秒、1分、2分とスリープ機能が働かない（OFF）の４つから選べます。

オートパワーOFF ...... 撮影モード時に一定時間操作をしないと、電源をOFFにする機能です。
(AUTO POWER OFF)
２分、５分、10分から選べます。

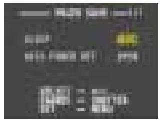
- SLEEPとAUTO POWER OFFの設定が共に２分の場合は、AUTO POWER OFFの方を優先します。すなわち、２分間操作をしないと、電源がOFFになります。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［CUSTOM］（カスタム設定）に合わせます。**



3. **【＋】または【－】で“POWER SAVE”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**
【シャッター】を押すごとに、項目の内容が変わります。

5. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

モードメモリー設定

モードメモリーとは、電源をOFFにしたときでも直前の状態を記憶しておく機能です。
記憶できる物は、ホワイトバランス、絞り、デジタルズーム、フラッシュモード、フォーカスモード、測光方式です。

WB .... 撮影メニュー（50ページ）で設定したホワイトバランスを記憶します。
（ホワイトバランス）

APERTURE .... 撮影メニュー（50ページ）で設定した絞り切り替えを記憶します。
（絞り切り替え）

DIGITAL ZOOM .... 撮影メニュー（50ページ）で設定したデジタルズームを記憶します。
（デジタルズーム）

FLASH .... フラッシュの発光モードを記憶します。
（フラッシュ）

AF／MF／MACRO ... オートフォーカス／マニュアルフォーカス／マクロ撮影の状態を記憶します。
（ｵｰﾄﾌｫｰｶｽ／ﾏﾆｭｱﾙﾌｫｰｶｽ／ﾏｸﾛ撮影）

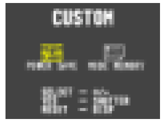
METERING .... 撮影メニュー（50ページ）で設定した測光方式を記憶します。
（測光方式）

“ON”時 --------------- 電源をOFFにしたときに、以下の内容で撮影した状態を記憶します。
“OFF”時 ------------- 電源をOFFにしたときに、以下の内容に戻ります。

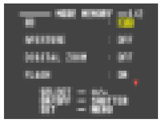
モードメモリーの項目	ON	OFF
WB	AUTO／ ／ ／ ／ ／MWB	AUTO
APERTURE	AUTO／F2／F5.6／F11	AUTO
DIGITAL ZOOM	OFF／AUTO／X2／X4	OFF
FLASH	AUTO／ ／ ／	AUTO
AF／MF／MACRO	AF／MF／MACRO	AF
METERING	MULTI／SPOT	MULTI

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［CUSTOM］（カスタム設定）に合わせます。**



3. **【＋】または【－】で“MODE MEMORY”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で設定項目を選択し【シャッター】を押します。**
【シャッター】を押すごとに、ON/OFFが変わります。

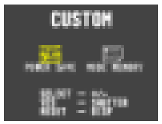
5. **設定が終了したら【MENU】を押します。**

カスタム設定のリセット

省電力（POWER SAVE）、モードメモリー（MODE MEMORY）中の、それぞれの項目の設定を初期値に戻すことができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［CUSTOM］（カスタム設定）に合わせます。**



3. **【＋】または【－】でリセットしたいほう(POWER SAVE/MODE MEMORY)を選択し【DISP】を押します。**
選択したほうのすべての項目がリセットされます。

カスタム設定項目	初期値
POWER SAVE	
SLEEP	1MIN
AUTO POWER OFF	2MIN
MODE MEMORY	
WB	OFF
APERTURE	OFF
DIGITAL ZOOM	OFF
FLASH	ON
AF／MF／MACRO	OFF
METERING	ON

その他の撮影方法

本機では、通常撮影以外にもいろいろな撮影方法があります。

ズーム撮影

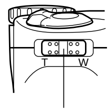
ズーム撮影には、光学／デジタルの２種類があります。

光学ズーム撮影

光学ズームは、レンズの焦点距離を変更することによってズーム撮影します。
ズーム範囲は２倍までです。

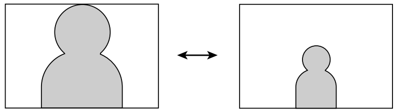
1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【ズームレバー】をスライドしてズーミングを行ない、写る範囲や大きさを変えます。**



【ズームレバー】

T［TELE］......................... T側に押すと望遠になります。
W［WIDE］....................... W側に押すと広角になります。



T（望遠）　W（広角）

3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**
- 望遠と広角により、明るさ（絞り）も変わります。

デジタルズーム撮影

デジタルズームは、画像の中央を２倍または４倍にしてVGAサイズ（640×480pixels）で記録します。

ズーム倍率..................... ２倍／４倍（光学ズームと併用で４～８倍）

４倍のときは、画像が粗くなります。
デジタルズームの設定方法については、50ページの「撮影メニュー」を参照してください。

重要! デジタルズームの倍率によって、オートフォーカスによる撮影可能範囲が以下のように変わります。

デジタルズーム倍率	撮影可能範囲
OFF	0.25m～∞
X2	0.6m～∞
X4	1.5m～∞

＊上記の距離よりも、被写体が近い場合には、オートフォーカスフレーム内の被写体にピントが合わない可能性があります。
このときは、【シャッター】半押し時に、オートフォーカスフレームが白色になります。

マニュアルフォーカス撮影

フォーカス機能をマニュアルにして、レンズのピントを合わせることができます。
＊マニュアルフォーカス撮影のときは、液晶画面に“MF”マークとピント距離（レンズ表面から）が表示されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【AF/MF/✿】を何回か押して「マニュアルフォーカス撮影」マーク(MF)を表示させます。**



   - 【AF/MF/✿】を押すごとに、オートフォーカス撮影→マニュアルフォーカス撮影→マクロ撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. **被写体までの距離を確認して、最も近い数字になるように【＋】または【－】で選択します。**

4. **【シャッター】を押します。**
   - マニュアルフォーカス時は、【シャッター】を半押ししても、【動作確認用ランプ】／オートフォーカスフレームは表示されません。

マクロ撮影

近くのものを撮影するときに、レンズの撮影距離を変更することができます。
＊マクロ撮影のときは、液晶画面に“✿”マークが表示されます。

ピント距離..................10cm固定
（オートフォーカス機能は働きません。）

ピント距離はレンズ前面のプロテクタから被写体までの距離です。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【AF/MF/✿】を何回か押して「マクロ撮影」マーク(✿)を表示させます。**

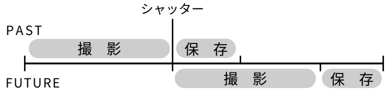


   - 【AF/MF/✿】を押すごとに、オートフォーカス撮影→マニュアルフォーカス撮影→マクロ撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**

ムービー撮影

約3.2／6.4／12.8秒の動画を撮影することができます。
ムービー撮影の種類には、【シャッター】を押した前（PAST）と後（FUTURE）の２通りの撮影方法があります。
撮影方法、撮影時間の切り替えはメニュー設定画面で変更します。
詳しい操作方法は、50ページ「撮影メニュー」を参照してください。



PASTで撮影すると、シャッターチャンスを逃すことなく撮影することができます。

FUTUREで撮影する

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を[▣]（ムービー撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**
   - オートフォーカスが被写体の動きに応じて、追従を開始します。

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

PASTで撮影する

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を[▣]（ムービー撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**



   - オートフォーカスが被写体の動きに応じて追従を開始します。
   - 設定されている撮影時間によって、3.2／6.4／12.8秒間「STAND BY」と表示され、この間は【シャッター】を押しても、記録が開始できません。
   - 所定の時間が過ぎると「STAND BY」表示が消え、記録可能状態になります。

4. **被写体を追い続け、決定的瞬間が終わったら【シャッター】を押して、撮影を終了します。**
   - 設定されている撮影時間に応じて、【シャッター】を押した時点からさかのぼって記録されます。

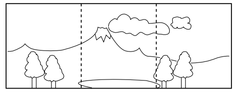
重要!
- ムービー撮影モードでは、フラッシュの発光はしません。
- ムービー撮影モードでは、４枚のVGAサイズ（640×480pixels）の画像として記録されます。

	コマ/秒	1画面内のコマ数	画面数
3.2秒	5	4	4
6.4秒	10	16	4
12.8秒	5	16	4

- ムービー撮影した画像を、パソコンに保存して再度本機に転送し直すと自動再生はできなくなります。
- ムービー撮影モードにすると自動的にデジタルズームがかかります。また、光学ズームと組み合わせて使うこともできます。
- ムービー撮影時のオートフォーカスは被写体の動きに応じて追従します。

パノラマ撮影

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。



1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を[▭▭]（パノラマ撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

5. **前回撮影した画像の右端が残像になって画面左端に表示されます。**

- ２枚目以降は、右方向にカメラを動かして、前回の残像と今回のフレームが重なるように合わせて撮影してください。

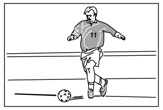
＊ 最大９枚までを１グループとして撮影し、パノラマ再生することができます。途中で撮影を終了したい場合は、【MENU】を押します。
＊ パノラマ撮影は、10枚目以降も可能です。パソコンのソフトで10枚以上合成する場合に利用できます。

参考 パノラマ撮影時のAEとホワイトバランスは、１枚目を撮影したときの状態でロックされて２枚目以降の撮影をします。

重要! パノラマ撮影した画像を、パソコンに保存して再度本機に転送し直すと自動再生はできなくなります。

スポーツ撮影

スポーツ撮影モードは、動きの速い被写体を撮影するときに使用します。
暗い場面での撮影では、通常撮影条件と同様になります。



1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［ ］（スポーツ撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**

- 【シャッター】を半押ししている間、被写体の動きに合わせて、フォーカスが追従します。また、【動作確認用ランプ】／オートフォーカスフレームは表示されません。

4. **【シャッター】を押します。**

夜景撮影

夜景撮影モードは、暗い場所で撮影するときに使用します。



1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［ ］（夜景撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

- 夕暮れや夜景などをバックに人物を撮影する場合などにフラッシュと夜景モードを組み合わせることで、スローシンクロ撮影をすることができます。

重要!
- 夜景モードでは、シャッタースピードが遅くなるので、必ず三脚を使用し、カメラを固定してください（手ぶれ警告は表示されません）。
- 暗いところでは、ピントが合いづらいことがあります。そのときは、マニュアルフォーカス（41ページ参照）をお使いください。また、動きの早い被写体ではぶれる場合があります。
- シャッタースピードが遅くなるため、液晶画面の表示速度も遅くなります。
このため、画面に表示される画像と実際に記録される画像が一致しないことがあります。

セピア撮影

セピア撮影モードは、セピア色で撮影するときに使用します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［SEPIA］（セピア撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

＊ 撮影後にカラー画像にすることはできません。

モノクロ撮影

モノクロ撮影モードは、画像を白黒で撮影するときに使用します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［B/W］（モノクロ撮影）に合わせます。**



3. **撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

＊ 撮影後にカラー画像にすることはできません。

セルフタイマー撮影

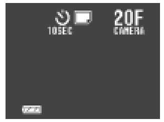
セルフタイマー撮影の種類には、2通りの方法があります。

10秒後に撮影 .... 撮影者が写るときに使用します。
2秒後に撮影 .... 【シャッター】を押すときの手ぶれを防ぐことができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【 】を押して「セルフタイマー撮影」マーク（ ）を表示させます。**

＊【 】を押すごとに、10秒後撮影 → ２秒後撮影の順番で時間が切り替わります。



3. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**

＊ 液晶画面に10秒または２秒前からのカウントダウンが表示され、撮影します。
＊ カウントダウン表示中に【シャッター】を押すと、セルフタイマー撮影を解除することができます。

参考 セルフタイマー撮影時は、レンズ部を１８０°回転させて、レンズと液晶画面を同じ側にしておくと、セルフタイマーのカウントダウン表示を見ながら撮影されるのを待つことができます。途中で撮影をキャンセルしたくなった場合などにも、あと何秒で撮影されるかがわかり、便利です。

タイマー撮影

撮影方法には、以下の３つがあります。

- 現時点からの一定間隔の繰り返し撮影（インターバル撮影をします。）
- 設定した時間に１枚撮影（タイマー撮影をします。）
- 設定した時間から一定間隔で撮影（インターバルタイマー撮影をします。）

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を［⏻］（タイマー撮影）に合わせます。**



3. **【＋】または【－】で「SHOTS（撮影枚数）」を設定して【シャッター】を押します。**

＊１枚に設定した場合は、手順５に進みます。

4. **【＋】または【－】で「INTERVAL（撮影間隔）」を設定して【シャッター】を押します。**

＊1分～60分まで1分単位で設定できます。

5. **【＋】または【－】で「START TIME（開始時間）」を設定して【シャッター】を押します。**

＊開始時間の設定は、現在から24時間以内の設定です。

6. **【＋】または【－】で「分」を設定して【シャッター】を押します。**

7. **被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**

＊設定時間になると【動作確認用ランプ】が点灯し撮影が開始されます。

タイマー撮影中に電源を入れた場合

タイマー撮影中に電源を入れると、次の画面が表示され、タイマー撮影はキャンセルされます。



撮影メニュー

画質モード、ホワイトバランス、絞り、ムービー撮影時間などを設定することができます。
好みや撮影状況によって設定を変更してください。

QUALITY（画質モード） ……… 画質の精度が「超高精細画質“S”」「高精細画質“F”」「標準画質“N”」「エコノミー画質“E”」から選べます。（35ページ）

WB（ホワイトバランス） ……… オート／（電球）／（蛍光灯）／（太陽光）／（日陰）／マニュアルの切り替えができます。
ホワイトバランスとは、被写体を自然の色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することをいいます。

- **（電球）** …… 電灯下で赤みがあるときに設定
- **（蛍光灯）** .. 蛍光灯下で緑がかっているときに設定
- **（太陽光）** … 屋外での撮影時に設定
- **（日陰）** …… 日陰で青みがかっているときに設定
- **マニュアル** …… 現在の光源の元で、白紙を撮影して設定する（52ページ）

APERTURE（絞り切り替え） ……… オート／F2.8／F5.6／F11の切り替えができます。
上記のように表示されますが、光学ズームの倍率によって実際は以下のような値になります。

表示	実際の値（広角時～望遠時）
F2.8	F2.8 ～ F3.5
F5.6	F5.6 ～ F7
F11	F11 ～ F14

DIGITAL ZOOM（デジタルズーム） …… オート／2倍／4倍／OFFの切り替えができます。（40ページ）
デジタルズーム時は、必ずエコノミー画質（640×480pixels）で記録されます。
オートに設定して、【ズームレバー】をT側に押すとデジタルズームが２倍／４倍に、W側に押すとOFFに切り替わります。

MOVIE MODE（ムービー撮影モード） …… FUTURE／PASTの切り替えができます。（42ページ）

MOVIE TIME（ムービー撮影時間） …… 3.2／6.4／12.8秒の切り替えができます。（42ページ）

METERING（測光方式） …… マルチ測光／スポット測光の切り替えができます。

- **マルチ測光** …… 画面全体を分割して測光します。バランスのとれた露出が得られます。
- **スポット測光** …… 画面の中央部のごく狭い部分を測光します。周囲の明るさの影響を受けず、写したい被写体に露出を合わせることができます。

SHARPNESS（画質補正） …… SOFT／NORAMAL／HARDの切り替えができます。
人物を撮影したときの輪郭などが変わります。

- **SOFT** …… 画像がやわらかく撮影されます。
- **HARD** …… 画像がくっきり撮影されます。

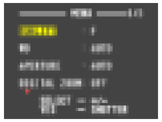
TIME STAMP（日付入力） …… 撮影するときの日付の写し込み方法を指定できます。
OFF/年月日/日時分/年月日時分の切り替えができます。
OFF以外にしたときは、日付が画像の中に写し込まれます。あとで日付だけ削除することはできません。（27ページ）

FOLDER（フォルダー選択） …… 撮影するときのフォルダーを選択することができます。（31、68ページ）

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

- 【撮影ダイヤル】が［CUSTOM／⏻］のときは、【MENU】は働きません。



3. **【＋】または【－】で設定を変更する項目を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で変更内容を選び【シャッター】を押します。**

- 他の項目の変更をする場合は、【MENU】を押して手順３～４の操作を繰り返します。

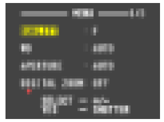
＊QUALITY,MOVIE MODE,MOVIE TIMEは電源をOFFにしても設定内容は変わりません。
WB,APERTURE,DIGITAL ZOOM,METERINGについては、カスタム設定のモードメモリーの設定が“ON”のときのみ電源をOFFにしても設定内容は変わりません。

■MWB（マニュアルホワイトバランス）の設定方法について

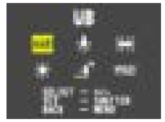
MWB（マニュアルホワイトバランス）の設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行なってください。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

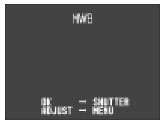
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】で“WB”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】で“MWB”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【MENU】を押してホワイトバランスのマニュアル設定を開始させます。**
- このとき、画面全体に白い紙などを写しておきます。
- ここで【シャッター】を押すと前回の「MWB」の設定値になります。
- 【MENU】を押すと、ホワイトバランスが設定され、手順**4**の画面に戻ります。ここで【シャッター】を押すと、設定状態から抜けます。
- なかなか完了しないときは、【シャッター】を押すと、その時点の「MWB」設定値になります。

＊「MWB」は白い紙などを用いて設定しますが、カメラ店、写真店などで市販されている標準反射版が最適です。

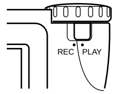
再生する

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

基本的な再生

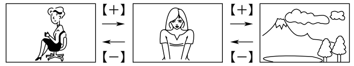
本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］(再生)の位置に合わせます。**



＊［PLAY］は撮影した内容を見るときの位置(再生モード)、［REC］は撮影するときの位置(撮影モード)です。

2. **【＋】または【－】を押します。**
- 【＋】を押すと次の画像が表示され、【－】を押すと前の画像が表示されます。
- 【＋】または【－】を押し続けると画像が続けて送られます。



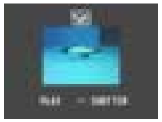
参考
- 撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を［PLAY］(再生)の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。
- ムービー撮影／パノラマ撮影した画像が表示されているときに【シャッター】を押すと、ムービー再生／パノラマ再生をすることができます。
- 初めに表示される画像は、簡易画像のため粗い表示になっていますが、数秒後に精細な画像として表示されます(ビデオ出力時の簡易画像表示中は、画面の右上に「PREVIEW」と表示されます)。

ムービー再生機能

ムービーモードで撮影した画像を再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］(再生)の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】を使ってムービー撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとムービー再生を始めます。**
- ムービー再生中に【＋】または【－】を押すと再生方向を切り替えることができます。
- ムービー再生中に【シャッター】を押すと一時停止します。この状態で【＋】または【－】を押すと、「コマ送り」「コマ戻し」ができます。

＊ムービー再生／一時停止中に【DISP】を押すごとに、1/4画面→全画面表示の順で切り替わります。

4. **ムービー再生を終了するには、【MENU】を押します。**

ムービー編集機能について

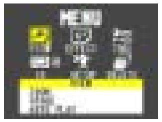
ムービー撮影された画像は、デジタルカメラ内で通常4枚1組のグループとして管理されています。
しかし、一度パソコンに転送し再び本機に戻すと、このグループが解除されていてムービー再生することができません。
このときは、以下の方法で再度グループ化の処理を行なってください。

■ムービー画像をグループ化する

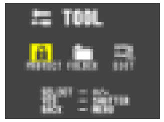
1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］(再生)の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】を押して、グループ化をする画像の先頭のページを選びます。**

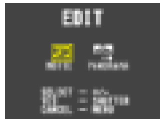
3. **【MENU】を押します。**



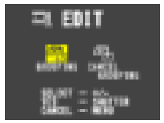
4. **【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。**



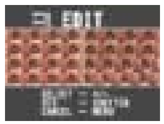
5. **【＋】または【－】を使って“EDIT”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【－】を使って“MOVIE”を選び【シャッター】を押します。**



7. **【＋】または【－】を使って“GROUPING”を選び【シャッター】を押します。**



8. **【＋】または【－】を使ってグループ化したい画像の最後の画像を選び【シャッター】を押します。**

■ムービー画像をグループ解除する

1. **「ムービー画像をグループ化する」の手順１～６の操作を行ないます。**

2. **【＋】または【－】を使って、“CANCEL GROUPING”を選び【シャッター】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って、グループ解除したいムービー画像を選び【シャッター】を押すと、グループが解除され次のムービー画像が表示されます。**

＊現在のフォルダーにムービー画像がないときは、自動的に終了します。このまま続けたいときは、手順3を繰り返します。

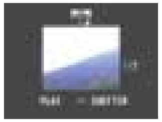
4. **終了するときは【MENU】を押します。**

パノラマ再生機能

パノラマモードで撮影した画像をスクロール再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

2. **【+】または【−】を使ってパノラマ撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとパノラマ再生を始めます。**



- パノラマ再生中に【+】または【−】を押すと、スクロール方向を切り換えることができます。
- パノラマ再生中に【シャッター】を押すと、一時停止します。この状態で、【+】または【−】を押すとコマ送り、コマ戻しができます。
- パノラマ再生／一時停止中に【DISP】を押すと、ワイド画面 → 全画面の順に表示が切り替わります。

4. **パノラマ再生を終了するには、【MENU】を押します。**

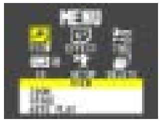
パノラマ編集機能について

一度パソコンに転送し再び本機に戻すと、グループが解除されていてパノラマ再生することができません。
このときは、以下の方法でグループ化の処理を行なってください。

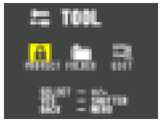
■パノラマ画像をグループ化する

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

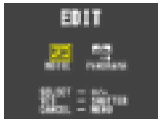
2. **【MENU】を押します。**



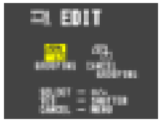
3. **【+】または【−】を使って"TOOL"を選び【シャッター】を押します。**



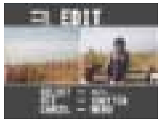
4. **【+】または【−】を使って"EDIT"を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】を使って"PANORAMA"を選び【シャッター】を押します。**



6. **【+】または【−】を使って"GROUPING"を選び【シャッター】を押します。**



7. **【+】または【−】を使ってパノラマ撮影した画面を選び【シャッター】を押します。**

■パノラマ画像をグループ解除する

1. **「パノラマ画像をグループ化する」の手順1～5の操作を行ないます。**

2. **【+】または【−】を使って、"CANCEL GROUPING"を選び【シャッター】を押します。**



3. **【+】または【−】を使って、グループ解除したいパノラマ画像を選び【シャッター】を押すと、グループが解除され次のムービー画像が表示されます。**

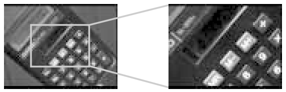
＊現在のフォルダーにパノラマ画像がないときは、自動的に終了します。このまま続けたいときは、手順3を繰り返します。

4. **終了するときは【MENU】を押します。**

画像を拡大して表示する

撮影した画像を、部分的に2倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

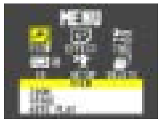
重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。



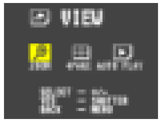
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

2. **【+】または【−】を使って拡大表示したい画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【+】または【−】を使って"VIEW"を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】を使って"ZOOM"を選び【シャッター】を押します。**

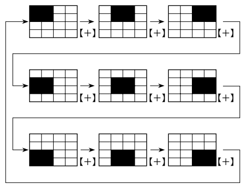
- 画面の中央部が2倍に拡大されて表示されます。

6. **【+】または【−】を押します。**

- 押すごとに、拡大範囲が次ページの図のように移動します。

7. **拡大表示を終了するには、【+】／【−】／【DISP】以外のボタンを押します。**

拡大範囲の移動のしかた

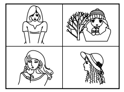


•【−】を押した場合は、この逆の動きになります。

参考 画面情報の表示中（17ページ）に拡大表示を行なうと、現在画面上のどの位置が拡大されているかを画面右上端に"▣"で表示します（これを「範囲表示」といいます）。拡大表示中でも、【DISP】を押すことで、範囲表示の表示／非表示を切り替えることができます。

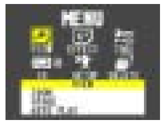
1つの画面に複数画像を表示する

撮影した内容を、4枚同時に一覧表示させることができます。大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。

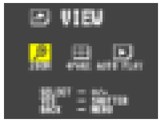


1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



3.【＋】または【－】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



4.【+】または【–】を使って“４PAGE”を選び【シャッター】を押します。

＊ *最初に表示していた画面を先頭として４画面表示されます。*

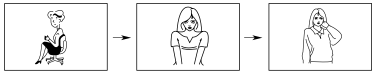
5.【+】または【–】を押すごとに別の画像を表示できます。

1	2	【+】→ ←【–】	5	6	【+】→ ←【–】	9	10
3	4		7	8		11	1

6. 複数画面表示を終了するには、【+】／【–】／【DISP】以外のボタンを押します。

オートプレイ機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを変更することもできます。

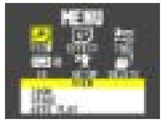


重要! オートプレイ中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、２４ページを参照）が働きません。このため、電池で本機を使用しているときにオートプレイをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。オートプレイで撮影した内容を見た後は、必ずオートプレイを終了して、電源を切るようにしてください。

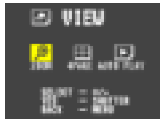
オートプレイを開始する

1.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

2.【MENU】を押します。



3.【＋】または【－】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



4.【+】または【–】を使って“AUTO PLAY”を選び【シャッター】を押します。

- オートプレイが始まります。

5. オートプレイを終了するには【シャッター】を押します。

＊ *このとき、【MENU】以外のどのボタンを押しても、オートプレイを終了することができます。*

＊ *画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。*

オートプレイの設定

ページめくりの間かく（５～３０秒）の設定を行なうことができます。

1.「オートプレイを開始する」（62ページ参照）の手順に従って、まずオートプレイを開始します。

2.【MENU】を押します。

- 画面の静止中に押してください。



3.【+】または【–】を使ってページめくりの間かくを選び【シャッター】を押します。

＊ *ページめくりの間かくは、５秒から３０秒までの間で１秒間かくで指定できます。*

＊ *指定したページめくりの間かくでオートプレイを開始します。*

スクリーンセーバー機能

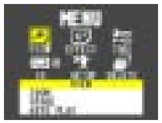
本機を操作しないで５分間放置しておくと、自動的にページめくり（オートプレイ機能）を開始する機能です。
液晶画面や、テレビ、モニターなどの焼き付け防止に役立ちます。

重要!
- 撮影モード時は、機能しません。
- ACアダプターを使用していないと、機能しません。
- 表示される内容はメモリープロテクト（７２ページ）されている画像だけです。
- メモリープロテクトされた画像がないときや“NO IMAGE”状態では実行できません。
- 工場出荷時に、スクリーンセーバー機能は“ON”になっていますので、パソコンリンクソフトで通信するときは“OFF”にしてください。

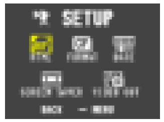
1. 別売品の専用ACアダプター（AD-C620J）を接続します。

2.【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

3.【MENU】を押します。



4.【＋】または【－】を使って“SETUP”を選び【シャッター】を押します。



5.【+】または【–】を使って“SCREEN SAVER”を選び【シャッター】を押します。

6.【+】または【–】を使って“ON”を選び【シャッター】を押します。

- スクリーンセーバーの機能になります。
- スクリーンセーバーの機能を解除する場合は“OFF”を選びます。

7. ５分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーを開始します。ページめくりの間隔はオートプレイと同じです。

8. スクリーンセーバーを終了するには【シャッター】を押します。

＊ *このとき、どのボタンを押してもスクリーンセーバーを終了することができます。*

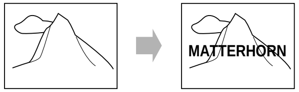
＊ *画面のスクロール中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。*

撮影した画像を編集する

撮影した画像を本機の編集機能を使用していろいろな内容に変更することができます。

画像にタイトルをつける

本機でタイトルを撮影後、画像にタイトルを合成することができます。タイトルに使う文字を紙などに書いておいてください。



タイトルを撮影する

重要! • タイトルを撮影すると、前回撮影したタイトルは消去されます。
• タイトル撮影では、デジタルズーム撮影ができません(光学ズームは可)。

1. **【ファンクションスイッチ】を[REC](撮影)の位置に合わせます。**

2. **【撮影ダイヤル】を[ ](タイトル撮影)に合わせます。**



3. **撮影するタイトルにフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。**
- タイトルを撮影するときは線の内側に合わせます。
- 動作確認用ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

＊【+】または【−】で露出を補正することができます(36ページの「露出補正」を参照してください)。

4. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】で明るさを調整(±30段階まで)してから【シャッター】を押します。**

＊調整した明るさでタイトルが保存されます。

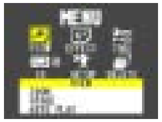
タイトルを画像に合成する

重要! • 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。
－メモリーの空き容量が少ない場合。
－表示している画像がムービー撮影／パノラマ撮影した画像の場合。
－撮影モードで"MEMORY FULL"が表示されている場合。
－撮影モードで"FOLDER FULL"が表示されている場合。

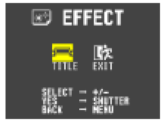
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**

2. **【+】または【−】を使ってタイトルを合成する画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【+】または【−】を使って"EFFECT"を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】を使って"TITLE"を選び【シャッター】を押します。**



6. **【MENU】を押して、タイトルの変更をします。**
- ここで【シャッター】を押すと、前回設定した内容で合成されます。



7. **【+】または【−】を使ってタイトルの色を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、タイトルの色が20種類(【−】は逆)切り替わります。



8. **【+】または【−】を使ってタイトルのプレートを選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、プレートの形が4種類(【−】は逆)切り替わります。
＊「プレートなし」を選択したときは手順9に進みます。



9. **【+】または【−】を使ってプレートの色を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、プレートの色が12種類(【−】は逆)切り替わります。



10. **【+】または【−】を使ってタイトルの位置を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、タイトルの位置が移動します。
＊タイトルが合成された画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

フォルダー分類について

フォルダーを使うと「仕事」「プライベート用」など、撮影した画像を分類することができます。

＊CAMERA／FOLDER A／FOLDER B／FOLDER C／FOLDER D／FOLDER Eの6種類のフォルダーがあります。
＊撮影時には、通常「CAMERA」フォルダーに記録されます。撮影時に記録するフォルダーを変更するときは、50ページの「撮影メニュー」を参照してください。

重要! 1フォルダーに画像を最大250枚まで保存できます(カードの種類や画質によって異なります)。

再生したいフォルダーを選択する

【 】での切り替え

1. **【ファンクションスイッチ】を【PLAY】(再生)の位置に合わせます。**

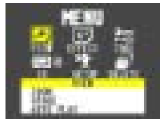
2. **【 】を1回押すごとにフォルダーが順次切り替わります。**

【MENU】での切り替え

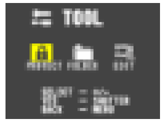
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY](再生)の位置に合わせます。**

＊【 】を押して変更することもできます。

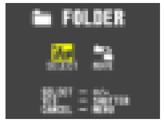
2. **【MENU】を押します。**



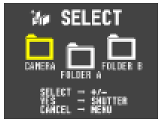
3. **【+】または【−】で"TOOL"を選び【シャッター】を押します。**



4. **【+】または【−】で"FOLDER"を選び【シャッター】を押します。**



5. 【+】または【−】で“SELECT”を選び【シャッター】を押します。

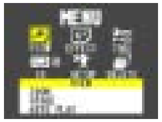


6. 【+】または【−】で再生したいフォルダーを選び【シャッター】を押します。

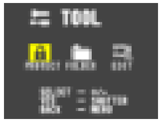
フォルダー内の画像を１枚ずつ別のフォルダーに移動する

重要! 最初に移動したい画像のあるフォルダーに合わせておいてください（68ページ）。

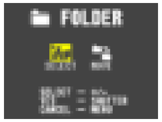
1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



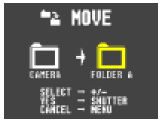
3. 【+】または【−】で“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



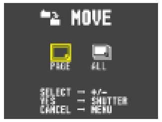
4. 【+】または【−】で“FOLDER”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【−】で“MOVE”を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【−】で移動先のフォルダーを選び【シャッター】を押します。



7. 【+】または【−】で“PAGE”を選び【シャッター】を押します。

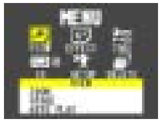


8. 【+】または【−】で移動する画像を選び【シャッター】を押します。
9. 移動する作業を繰り返す場合は、８の操作を繰り返します。
10. 終了するときは【MENU】を押します。

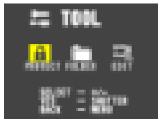
フォルダー内のすべての画像を一度に別のフォルダーに移動する

重要! 最初に移動したい画像のあるフォルダーに合わせておいてください（68ページ）。

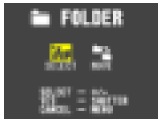
1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



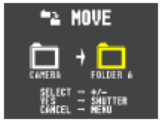
3. 【+】または【−】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



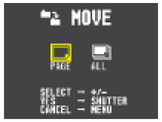
4. 【+】または【−】を使って“FOLDER”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【−】を使って“MOVE”を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【−】で移動先のフォルダーを選び【シャッター】を押します。



7. 【+】または【−】を使って“ALL”を選び【シャッター】を押します。

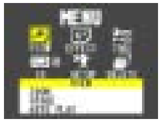
メモリープロテクト機能について

必要な画像を誤って削除してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（誤消去防止）機能が付いています。メモリープロテクトのかけ方には、「1画像ごと」「フォルダー単位」「全画像まとめて」の３つの方法があります。

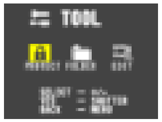
重要! 画像データにメモリープロテクトをかけていても、「メモリーカードのフォーマット（初期化）（20ページ）」を行なうと、すべてのデータが消去されます。

1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【−】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【−】を使って“PROTECT”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【−】を使って“PAGE”を選び【シャッター】を押します。

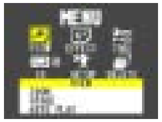


6. 【+】または【−】を使ってメモリープロテクトをかけたり解除する画像を表示させます。
7. 【シャッター】を押して、メモリープロテクトをかけたり解除します。
   ＊メモリープロテクトがかかると、指定した画像の左側に鍵マーク“🔒”が表示されます。
8. このまま続けてメモリープロテクトを行ないたい場合は、手順６〜手順７を繰り返してください。
   ＊設定画面から抜ける場合は、【MENU】を押します。また、１分間何も操作しないと元の画面に戻ります。

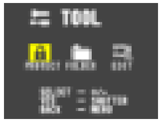
フォルダー単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



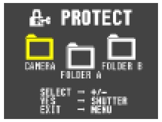
3. 【＋】または【－】を使って“ TOOL ”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“ PROTECT ”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って“ FOLDER ”を選び【シャッター】を押します。



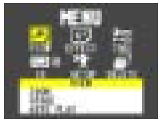
6. 【+】または【–】を使ってメモリープロテクトをかけたり解除するフォルダーを選び【シャッター】を押します。

7. 【+】または【–】を使って“ ALL ”（プロテクト設定時）または“ CANCEL ”（プロテクト解除時）を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... フォルダーのすべての画像の左上に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます（画面情報表示（17ページ）設定時）。
   - プロテクト解除時 ...... フォルダーのすべての画像の左上の鍵マーク“ 🔒 ”が消えます（画面情報表示（17ページ）設定時）。

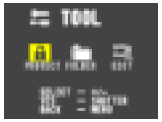
全画像にメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“ TOOL ”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“ PROTECT ”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【–】を使って“ ALL ”を選び【シャッター】を押します。

6. 【+】または【–】を使って“ ALL ”（プロテクト設定時）または“ CANCEL ”（プロテクト解除時）を選び【シャッター】を押します。
   - プロテクト設定時 ...... すべての画像の左上に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます（画面情報表示（17ページ）設定時）。
   - プロテクト解消時 ...... すべての画像の左上の鍵マーク“ 🔒 ”が消えます（画面情報表示（17ページ）設定時）。

画像を削除する

画像を削除する方法には、１画像単位／フォルダー単位／全画像単位の３つがあります。

重要!
- 一度削除してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。削除の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像削除の操作では、撮影した全ての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。
  －すべての画像がメモリープロテクトされているとき。

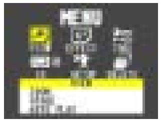
＊ メモリープロテクトのかかった画像は削除できません。72ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

1画像ずつ削除する

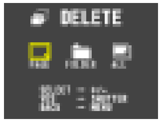
画像を１画像ずつ確認しながら削除する方法です。

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“ DELETE ”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“ PAGE ”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【–】を使って削除したい画像を表示させます。
   ＊ メモリープロテクトされている画像は表示されません。

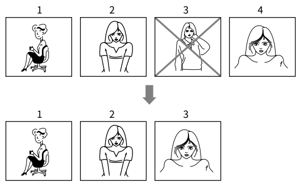
6. 現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。
   ＊ もし、削除せずに元の画面に戻るには、【+】／【–】／【シャッター】以外のボタンを押します。

7. 削除するには、【シャッター】を押します。
   - ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、グループ単位で削除されます。

   ＊ 画面に表示されていた画像が削除され、続けて次の画像が削除できる状態になります。

8. このまま続けて画像削除を行ないたい場合は、手順５～手順７を繰り返してください。
   ＊ 削除の操作を終了したい場合は、【+】／【–】／【シャッター】以外のボタンを押します。

参考 １画像削除を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。

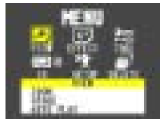


フォルダー内のすべての画像を一度に削除する

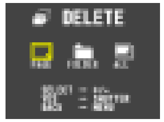
フォルダーごとに画像を削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト（72ページ）をかけた画像だけは削除されません。

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

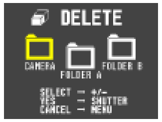
2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“ DELETE ”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“ FOLDER ”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って削除するフォルダーを選び【シャッター】を押します。

6. 【+】または【–】を使って“ ALL ”を選び【シャッター】を押します。

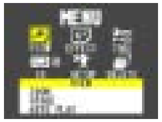
＊ 現在のフォルダー内の画像がすべて削除され、画面に“「フォルダー名」NO IMAGE ”と表示されます。
＊ メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている最初の画像が表示されます。

すべての画像を一度に削除する

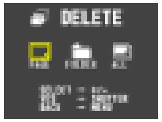
画像のすべてを一度に削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト（72ページ）をかけた画像だけは削除されません。

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

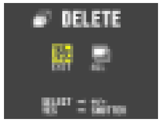
2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“ DELETE ”を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【–】を使って“ ALL ”を選び【シャッター】を押します。



重要! 次の操作を行なうと、画像のすべてが削除されます。すべて削除してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで“ EXIT ”を選んで一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

5. 【+】または【–】を使って“ ALL ”を選び【シャッター】を押します。

＊ すべての画像が削除され、画面に“ NO IMAGE ”と表示されます。
＊ メモリープロテクトをかけている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけている最初の画像が表示されます。

さまざまな機器との接続

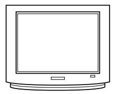
ここでは、本機とさまざまな外部機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）を接続して使うときの接続のしかた、および使いかたについて説明します。また、接続に際しての注意点なども、あわせて説明します。

接続に使う端子について

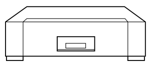
本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の２つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。

ビデオ出力端子に接続

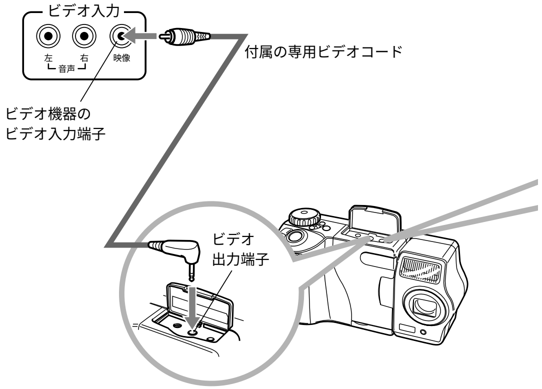
テレビ　→82ページ

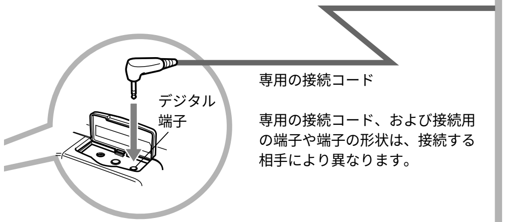


ビデオ、ビデオプリンター



撮影した内容をビデオに録画したり、ビデオプリンターで印刷することができます。





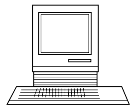
専用の接続コード

専用の接続コード、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。

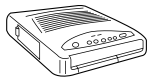
重要!
- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書を参照してください。
- テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。
- 本機では、カシオのデジタルカメラ間でケーブルを通じて画像を送ることはできません。

デジタル端子に接続

パソコン
→84ページ



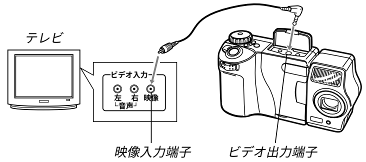
QVカラープリンター
→83ページ



接続のしかたと操作

テレビとの接続

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、付属の専用ビデオコードを使って本機とテレビを接続します。



1. **付属の専用ビデオコードを使って、本機とテレビを接続します。**
2. **接続したら、テレビ側のチャンネルを「ビデオ入力」にセットします。**
3. **接続後の操作手順は、54ページ「基本的な再生」と同じです。**

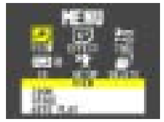
重要!
- テレビを本機と接続するには、テレビ側が上記のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- 電池残量表示（24ページ）などの表示は、そのままテレビ画面に表示されますのでご注意ください。
- ビデオコードが本機に接続されると、液晶画面は消灯します。

ビデオ出力の方式を変更する場合

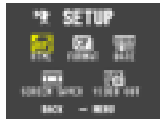
本機は、ビデオ出力の方式を変更することができます。
ビデオ出力の方式には、以下の２種類があります。

NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。
PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って“SETUP”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“VIDEO OUT”を選び【シャッター】を押します。**

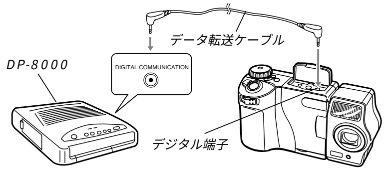


5. **【+】または【–】を使ってビデオ出力の方式を選び【シャッター】を押します。**

QVカラープリンターとの接続

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。

接続できる機種：DP-300／DP-8000／DP-8800SX



1. **QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って本機とQVカラープリンターを接続します。**
2. **接続したら、【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせ電源を入れます。**
   - QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

重要!
- QVカラープリンターと接続したときは、ムービー撮影した画像は16分割または４分割表示になります。また、パノラマ撮影した画像は１枚ずつの画像のままで、合成された画像としてプリントできません。
- DP-8800SXには、データ転送ケーブルを使わずにIrTran-P通信でデータを転送することができます（85ページ）。

パソコンとの接続

パソコンリンクケーブルでの接続

本機の撮影内容を、最も劣化の少ないデジタルデータの状態でパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の撮影内容をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。
パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトの取扱説明書をご参照ください。

使用できるケーブル（別売品）
　NEC PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N
　IBM PC/AT互換機／PC98-NXシリーズ用：QC-1D
　Macintosh用：QC-2MまたはQC-3M

- NEC PC-9801/9821シリーズの一部には、D-sub25ピン端子の他にD-sub9ピン端子も備えているものがあります。これらの機種で他の機器を併用する場合は、接続のしかたに合わせてQC-1NかQC-1Dのどちらかを選択してください。
- MacintoshのうちPowerMacまたはPowerBookのG3シリーズ、およびPowerBook 2400/3400シリーズではQC-2Mをご使用になれませんので、必ずQC-3Mをご使用ください。なお、iMacにはシリアル端子が無いためどちらもご使用になれません。

使用できるソフト（付属）
　Windows版：LS-10W
　Macintosh版：LS-11M

- Windows版、LK-1／LK-10NC／LK-10DV／LS-1W／LS-7Wおよび、Macintosh版、LK-2／LK-2A／LS-2M／LS-8Mの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証しておりませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、パソコンリンクソフト側の取扱説明書を参照してください。

■パソコンリンクソフト(LS-10W/LS-11M)をご使用になる方へ

パソコンから画像をカメラへ転送（「カメラへ転送」または「画像の転送」）する場合、パソコンの画面上に「CAM形式に変換されます」と表示される場合がありますが、本機ではカメラ内の画像と同様に、すべてJPEG形式に変換されます。

赤外線通信のしかた

接続ケーブルを使わずに、本機の撮影内容を他のデジタルカメラなどに取り込んだり、他のデジタルカメラから本機にデータを読み込むことができます。

IrTran-Pによる通信のしかた

IrTran-P TranP とは

- 本機の赤外線通信機能は、IrDA通信のIrTran-Pに対応しており、IrTran-P対応機器との間で、データの送受信が可能です。
- IrTran-Pは、日本電信電話（株）、ソニー（株）、シャープ（株）、オカヤ・システムウェア（株）、当社で共同開発した、デジタルカメラの静止画像を赤外線により転送するための通信規格です（1998年1月現在）。

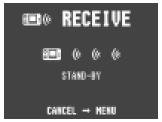
重要!
- IrTran-Pによる通信は、IrTran-Pに対応されていない機器とは通信できません。
- IrTran-P通信で画像を送信または受信しているときに、通信相手のID（商品識別文字列）が表示されます。IDには通常会社名や商品名などが表示されますが、相手の機器によっては表示されない場合もあります。
- QVプリンターDP-8800SXには、IrTran-P通信によりデータを転送することができます。操作方法については、DP-8800SX側の取扱説明書もご参照ください。
- QV-7000SX同士でIrTran-P通信を行なった場合は、1280×960／640×480pixelsの画像はそのままのサイズで送信されます。
QV-770のような640×480pixelsの機器にIrTran-P通信を行なった場合は、1280×960pixelsの画像は640×480pixelsに変換されます。
他社のIrTran-P機器と通信した場合は、その機器により異なります。

画像データを受信する

画像データを受信するときは、受信待機状態にします。

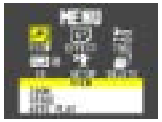
【 】からの操作

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**
2. **【 】を押します。**
3. **受信待機画面になります。**
   - 送信する機器に、10～30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 送信機器側の取扱説明書も参照してください。

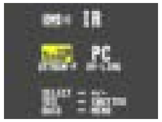


【MENU】からの操作

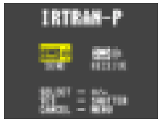
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って“IR”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“IRTRAN-P”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】を使って“RECEIVE”を選び【シャッター】を押します。**
6. **受信待機画面になります。**
   - 送信する機器に、10～30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 送信機器側の取扱説明書も参照してください。



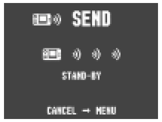
画像データを送信する

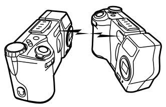
送信には、1画像ごと／フォルダー単位／全画像まとめての3つがあります。

重要! QV-7000SX以外の機種に、ムービー撮影／パノラマ撮影した画像を送信するとグループが解除されて自動再生ができなくなります。

【 】からの操作

1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】を使って送信する画像を選びます。**
3. **【 】を押します。**
4. **送信待機画面になります。**
   - 受信する機器に、10～30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。

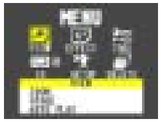




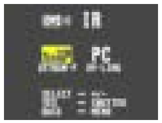
【MENU】からの操作

1枚ずつ画像を送信する

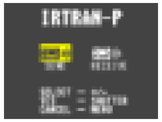
1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



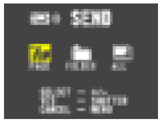
3. **【＋】または【－】を使って“IR”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“IRTRAN-P”を選び【シャッター】を押します。**



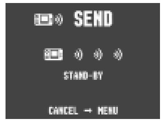
5. **【＋】または【－】を使って“SEND”を選び【シャッター】を押します。**

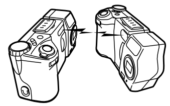


6. **【＋】または【－】を使って“PAGE”を選び【シャッター】を押します。**
7. **【＋】または【－】を使って送信する画像を選び【シャッター】を押します。**
   - 送信選択した画像には、“★”マークが表示されます。
   - 複数枚の画像を送信する場合は、手順7を繰り返します。（IrTran-P対応の機器でも機種によっては複数枚受信できないものがあります。）



8. **送りたい画像を確認して【MENU】を押します。**
9. **送信待機画面になります。**
   - 受信する機器に、10～30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。

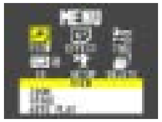




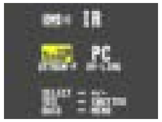
フォルダー単位で画像を送信する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

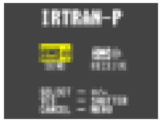
2. **【MENU】を押します。**



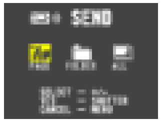
3. **【＋】または【－】を使って"IR"を選び【シャッター】を押します。**



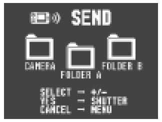
4. **【＋】または【－】を使って"IRTRAN-P"を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】を使って"SEND"を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【－】を使って"FOLDER"を選び【シャッター】を押します。**



7. **【＋】または【－】で移動先のフォルダーを選び【シャッター】を押します。**

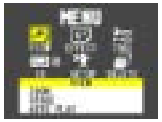
8. **送信待機画面になります。**
   - 10～30cm以内で向かい合わせてください。
   - 機種によっては複数枚受信できないものがあります。
   - 受信側のメモリー容量によっては全画像受信できないことがあります。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。

すべての画像を送信する

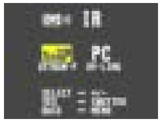
本機の画像データをすべて送信します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

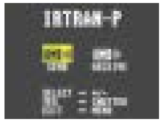
2. **【MENU】を押します。**



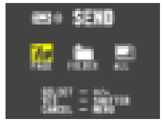
3. **【＋】または【－】を使って"IR"を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って"IRTRAN-P"を選び【シャッター】を押します。**

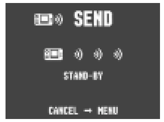


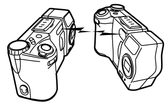
5. **【＋】または【－】を使って"SEND"を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【－】を使って"ALL"を選び【シャッター】を押します。**

7. **送信待機画面になります。**
   - 10～30cm以内で向かい合わせてください。
   - 機種によっては複数枚受信できないものがあります。
   - 受信側のメモリー容量によっては全画像受信できないことがあります。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。





パソコンリンクソフトによる通信のしかた

接続ケーブルを使わずにIrDA1.0以上が動作するパソコンと専用のパソコンリンクソフトを使用して、本機の撮影内容をパソコンに送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。

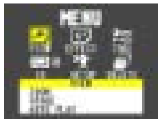
詳しくは、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像を、パソコンに保存して再度本機に転送し直すと自動再生はできなくなります。

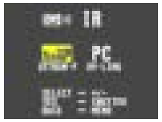
通信の準備

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って"IR"を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って"QV-LINK"を選び【シャッター】を押します。**



5. **パソコンの赤外線送受信部に、本機を向かい合わせてください。**

6. **パソコンリンクソフトを動作させてください。**

赤外線通信時の注意事項

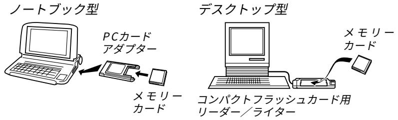
- 送信側／受信側の送受信部に光軸が一致するようまっすぐ向き合わせてください。また、送受信部が隠れないようにしてください。
- 赤外線通信すると、電池の消耗が早くなります。赤外線通信時は、別売のACアダプターをお使いになることをおすすめします。
- 直射日光など、強い光の当たるところでの通信は避けてください。
- 外光の影響、電池の消耗状況、通信距離、送受信する角度などにより、通信が不安定になり、通信できなかったり、画像の一部が変化することがあります。
- 通信範囲にしゃへい物があると、正しく通信できません。
- 他の赤外線通信機器（リモコンなど）や蛍光灯などを近くに置かないでください。誤動作の原因となります。

パソコンでメモリーカードをご利用になるには

メモリーカードの接続

パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行なうことができます。パソコンの機種によって接続方法は異なります。代表的な接続例は以下の通りです。

- コンパクトフラッシュカードスロットのある機種
  コンパクトフラッシュカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
  PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照してください。
- 一般の機種（デスクトップ型）
  1）市販のコンパクトフラッシュカード用　リーダー／ライターを使用します。
  2）市販のPCカード用　リーダー／ライターと、別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
  ＊ PCカード／コンパクトフラッシュカード用　リーダー／ライターとPCカードアダプター／パソコンに付属の取扱説明書を参照してください。



メモリーカード内の注意事項

■メモリーカード内のディレクトリ構造

```
QVIMG01　フォルダー
├ QVCAM.QVS ········ 管理ファイル（フォルダー）
├ TITLE ··················· タイトルデータ
├ INDEX.HTM ·········· HTMLファイル（メイン）
├ HTML　フォルダー
│  ├ MENU.HTM ············ HTMLファイル（メニュー部分）
│  └ BODY.HTM ············ HTMLファイル（画像一覧部分）
├ CAMERA　フォルダー
│  ├ CAMERA.QVS ·········· 管理ファイル（画像）
│  ├ 98901001.JPG
│  ├ 98901002.JPG
│  │      ⋮
│  └ PREVIEW　フォルダー
│     ├ DATA.HTM ······ HTMLファイル（画像情報部分）
│     ├ 98901001.JPG
│     ├ 98901002.JPG
│     │      ⋮
├ FOLDER A　フォルダー
│  ├ FOLDER A.QVS ········ 管理ファイル（画像）
│  ├ 98902001.JPG ······ 画像ファイル
│  │      ⋮
```


- 管理ファイル（フォルダー）／（画像）
  フォルダーの管理や画像の順番などの情報が記述されているファイル
- タイトルデータ
  タイトル撮影時に記録されるデータ（タイトル合成に用いる）
- HTMLファイル（メイン）／（メニュー部分）／（画像一覧部分）／（画像情報部分）
  デジタルカメラ内の画像をWWWブラウザで一覧表示するためのファイル
- CAMERAフォルダー
  画像が記録されるフォルダー
  CAMERA, FOLDER A, FOLDER B, FOLDER C, FOLDER D, FOLDER Eの６種類がある
- 画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイル　形式はJPEG形式
  ファイル名の作成については22ページを参照してください。
- PREVIEWフォルダー
  プレビュー画像が記録されるフォルダー
- プレビュー画像ファイル
  デジタルカメラで撮影したときに、画像ファイルと同時に記録される
  サイズの小さな画像ファイル　形式はJPEG形式
  デジタルカメラ内で、再生中にページ送りなどの際に用いられるファイル
  また、上記のHTMLファイルで画像を一覧表示する際にも用いられる

■デジタルカメラで扱える画像ファイル

- QV-7000SXで撮影した画像ファイル
- QV-LINK2.6（LS-10W Windows用）で保存したJPEGファイル（1280x960pixelsもしくは640x480pixelsのJPEGファイル）
- QV-CRAFTで保存したJPEGファイル（1280x960pixelsもしくは640x480pixelsのJPEGファイル）

パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点

- 本機では、管理ファイルにて画像ファイルなどの順番、属性を管理しています。従って、パソコン上でメモリーカード内のファイルを更新したり削除すると、管理ファイルの内容と画像ファイルの順番、属性とのつじつまが合わなくなり、メモリーカードをデジタルカメラに戻したときに、画像の順番が入れ替わったり、ムービー／パノラマ画像のグループが解除されたり、ページの送り／戻しが遅くなったりすることがあります。
- メモリーカードの内容をパソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどに保存する際は“QVIMG01”フォルダーごと保存し、その後パソコン上では管理ファイル（～.QVS）を更新したり削除しないでください。その際“QVIMG01”フォルダーの名前を年月日などに変えておくとあとで整理するときに便利です。
  ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーカードに戻して本機で再生する場合は、フォルダー名をパソコン上で“QVIMG01”に戻してからご使用ください。本機では“QVIMG01”以外の名前のフォルダーは認識されません（“QVIMG01”フォルダー内の“CAMERA”や“FOLDER A”などのフォルダー名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してからご使用ください。）。
- 一度パソコンのハードディスクやフロッピーディスク、MOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーカードは、中のファイルをすべて削除するか、フォーマットしてからデジタルカメラで使うことをおすすめします。

＊Macintoshで扱うときの注意点

本機で扱うメモリーカードは、ATAフォーマットで初期化されるため、Macintosh上では、メモリーカード内のすべてのファイルがテキストファイルとして見なされます。
従って、画像ファイルを開く場合には、以下の注意が必要です。

PC EXCHAGEで、メモリーカード内の画像ファイル（～.JPG）をQV-LINK（もしくは他のJPEGファイルが開けるアプリケーション）に関連付けしてください。

HTMLファイル作成機能

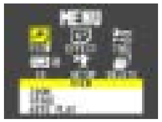
HTMLファイルとはインターネットのホームページを作成するためのファイル形式です。
本機では、撮影画像を一覧表示したり、撮影データを表示できるHTML形式のファイルを作成することができます。

＊本機で作成したHTMLファイルは

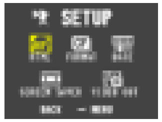
Microsoft Internet Explorer Ver3.0以上
Netscape Navigator Ver2.0以上

のWebブラウザでご覧になれます（QV-LINKではご覧になれません）。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って“SETUP”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】使って“HTML”を選び【シャッター】を押します。**



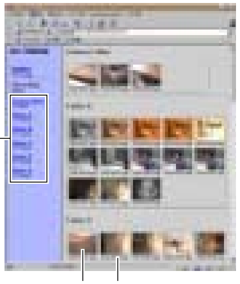
5. **【＋】または【－】使って“ON”を選び【シャッター】を押します。**
   これで、電源OFF時に自動的にHTMLファイルが作成されるようになります。
   “OFF”を選ぶと、HTMLファイル作成機能が解除されます。
   ＊ HTMLファイルを作成すると、メモリーカード内のQVIMG01フォルダーに“INDEX.HTM”ファイル他が作成されます。

重要!
- 電池末期やメモリーカードの空き容量が少ないときは、HTMLファイルが正常に作成されない場合があります。
- 電源をOFFにしたときに、【動作確認用ランプ】が点灯中に電池やACアダプター・メモリーカードを抜くとHTMLファイルは作成されません。

HTMLファイルのご利用方法

■HTMLファイルを見るには

パソコンにメモリーカードを接続し（93ページ）、“QVIMG01”フォルダー内の“INDEX.HTM”ファイルをWebブラウザにドロップすると、メモリーカード内のすべての画像が一覧表示されます。



フォルダー名　画像　ファイル名

ここで“各フォルダー名”をクリックすると、そのフォルダー内画像の情報表示になります。



ファイル名　画像　画像情報

画像情報

File size	：ファイルの容量（KB）
Resolution	：解像度（pixels）
Quality	：画質
Recording mode	：撮影モード
AE	：AEモード
Light metering	：測光方式
Shutter speed	：シャッタースピード
Aperture stop	：絞り値
Exposure comp	：露出補正値
Focusing mode	：フォーカスモード
Flash mode	：フラッシュモード
White balance	：ホワイトバランスモード
Digital zoom	：デジタルズーム倍率
Date	：日付

ここで“Index”をクリックすると、一覧表示に戻ります。

■HTMLファイルを保存するには

- メモリーカード内の“QVIMG01”フォルダーごと、パソコンのハードディスクや、フロッピーディスク、MOディスクなどに保存してください。その後は、“QVIMG01”内のファイルを更新したり削除しないでください。新たに画像を加えたり、削除したりすると、HTMLファイルが正常に表示されなくなることがあります。
  また、パソコンのハードディスクや、フロッピーディスク、MOディスクなどに保存した“QVIMG01”フォルダーは、名称を年月日（98年12月3日なら981203）に変えておくとあとで整理するときに便利です。
- メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときは、以前のファイルをすべて削除するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。

■HTMLファイル作成機能の設定について

本機は、電源を切るときにHTMLファイルを作成しているため、メモリーカード内の画像枚数が多いと、電源が切れるまでの時間がかかることがあります。
HTMLファイルをご利用にならない場合は、HTMLファイル作成機能の設定を“OFF”にすることをおすすめします。
“OFF”にすると電源が切れるまでの時間が速くなります。

■タイマー撮影中のHTMLファイル作成について

タイマー撮影中は、HTMLファイル作成機能の設定を“ON”にしていても、ショット数（撮影枚数）がすべて終了するまではHTMLファイルを作成しません。タイマー撮影途中にHTMLファイルを作成するには、一旦電源をON/OFFして、タイマー撮影をキャンセルしてください。その際、HTMLファイルを自動的に作成します。

ご参考、および保証等について

本機の操作中に不都合があった場合は、本章の「故障とお思いになる前に」をご参照ください。製品の仕様や別売品についても、こちらに記載してあります。
また、保証とアフターサービスについて、カシオのサービスステーション一覧が巻末に付記されています。

故障とお思いになる前に

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。	1) 電池を正しい向きに入れる（→23ページ）。 2) 新しい電池4本と交換する（→23ページ）。 3) 本機専用のACアダプター（AD-C620J）を使用する。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた（→24ページ）。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池4本と交換する（→23ページ）。
	画面中央部に“ ”というマークが出た	電池が切れる寸前である。	新しい電池4本と交換する（→23ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない	1) 【ファンクションスイッチ】が[PLAY]（再生）の位置になっている。 2) フラッシュ充電中である。 3)“MEMORY FULL”と表示されている。 4)“REMAINING”と表示されている。 5) メモリーカードのメモリー容量が少ないか、メモリーカードが入っていない。	1) [REC]（撮影）の位置に合わせる。 2) フラッシュの充電が終わるのを待つ。 3) いらない画像を削除する。 4) 画質モードを切り替える（→35ページ）。または、いらない画像を削除する。 5) メモリーカード内の不要な画像を削除するか、別のメモリーカードをセットする。
	オートフォーカスなのにピントが合わない	1) 【レンズ】または【測距センサー】が汚れている。 2) 被写体がオートフォーカスマークの中央にない。 3) ピントの合いにくい被写体である。	1) 【レンズ】と【測距センサー】をきれいにする。 2) 被写体を中央に合わせる。 3)「撮影メニュー」（→50ページ）を参照して撮影方法を変える。
	撮影した画像の被写体がボケている	フォーカスが合っていない。	ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
	セルフタイマー撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	新しい電池4本と交換する（→23ページ）。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	液晶画面に表示される画像のピントがあまい	1) マニュアル撮影モードでフォーカスがずれている。 2) マクロ撮影モードになっている。 3) 標準撮影モードになっている。	1) フォーカスを合わせる（→41ページ）。 2) 風景や人物を撮影する場合は、標準撮影モードにする。 3) 接写撮影する場合は、マクロ撮影モード“ ”にする。
	室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→32ページ）。
	ムービー撮影できない	1) 撮影モードがムービー撮影になっていない。 2) 撮影できる枚数が足りない。	1)【撮影ダイヤル】で、ムービー撮影モードにする。 2) いらない画像を削除して、残り枚数を超高精細“S”で2枚以上にする。
再生について	再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	マルチ画面表示で【＋】／【－】が働かない	画面が停止した状態でないと、【＋】／【－】は働きません。	画面の停止中に【＋】／【－】を押してください。
	撮影した一部の画像が表示されない	フォルダーが違っている。	画像のあるフォルダーを選択する。
	マルチ画面表示されない	フォルダー内に画像データが入っていない。	画像のあるフォルダーを選択する。
	テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1) 本機とテレビを正しく接続していない。 2) テレビ側の設定が合っていない。 3) ビデオ出力の方式が違う。	1) 専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→82ページ）。 2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。 3) ビデオ出力の方式を変更する（→82ページ）。
	パソコンで保存した画像が本機で表示されない	パソコン上でメモリーカードの画像を呼び出し後、画像修正等を行ないメモリーカードに保存した。	QV-LINKソフトを使用して、ケーブルもしくは、Ir通信を用いて画像を転送する。

	現　象	考えられる原因	対　処
削除について	“DELETE”を指定しても削除指定画面に移動できない	記録されているすべてのページにメモリープロテクトがかかっている。	削除したいページのメモリープロテクトを解除する（→72ページ）。
その他	メニュー内のアイコンが青色になって選択できない	1) 再生画像に対して機能しないアイコンが青色になって選択されない。 2) 画像が1枚も入っていない。	1) 表示している画像ではその機能を使うことができません（→66／75ページ）。 2) 撮影してからお使いください。
	すべてのボタン、スイッチがきかない	他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。
	赤外線通信ができない	1) 相手側の機器がIrTran-P対応でない。 2) 正しく向き合っていない。 3) しゃへい物や他の赤外線通信機器／蛍光灯などが近くにある。 4) 直射日光があたっている。	1) IrTran-P対応の機種を使用してください。 2) 光軸が一致するようにまっすぐ向き合わせてください。 3) しゃへい物など通信妨害するものがない場所で行なってください。 4) 直射日光があたらない場所で行なってください。
	勝手にページ送りがはじまった	スクリーンセーバー機能が[ON]になっている。	スクリーンセーバー機能を[OFF]にしてください（→63ページ）。

画面に表示されるメッセージ

CAN'T PLAY PANORAMA	パノラマ再生する際に、メモリーが足りないときに表示されます。 画像を削除する必要があります。
CF CF ERROR FORMAT→MENU	メモリーカードに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。 **重要!** 下記の操作を行なうとメモリーカード内のすべての内容（ファイル）が消えてしまいます。下記の操作を行なう前に、パソコン等を使用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。 1. **【MENU】を押します。**  2. **【＋】または【－】で“FORMAT”を選び【シャッター】を押します。**  ＊操作を中止したい場合は、“EXIT”を指定します。 • フォーマットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行なわれず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。 3. **【シャッター】を押すとメモリーカードのフォーマットが開始されます。** • メモリーカードのフォーマットを中止したい場合は電源を切ってください。 • フォーマットが終了すると、“NO IMAGE”の画面が表示されます。これは、フォーマットが正しく行なわれたことを示します。
CF NO CARD	本体にメモリーカードが入っていない場合に表示されます。 メモリーカードを入れてください。（19ページ）
DECODE ERROR	画像ファイルが壊れているか、本機で表示できないJPEGファイルを表示しようとしています。
DIAL	撮影するとき、【撮影ダイヤル】が合っていないときに表示されます。
ERROR	通信中にエラーがあったときに表示されます。 もう一度ケーブルの接続や、カメラのモードを確認してから行なってください。
FOLDER FULL	フォルダー内の画像が一杯になったことを示します。 1つのフォルダー内には、250枚の画像までしか保存できません。
FULL	ムービー撮影できないときに表示されます。 ムービー撮影を行ないたい場合は、いらない画像を削除してください（75ページ）。 フォルダー内の画像が一杯になったことを示します。

MEMORY FULL	• 撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度削除の操作を行なう必要があります（75ページ）。 • メモリーカードにパソコンからデータを転送したときに、メモリーカード内の空き容量が少ないために、“QVIMG01フォルダー”やその他のファイル（93ページ）が作成できない場合に表示されます。パソコン上でメモリーカード内のファイルを削除して、空き容量を増やしてください（【MENU】を押して、フォーマットすることもできますが、メモリーカード内のデータがすべて消えてしまいます。）。
MEMORY OVER	赤外線通信の受信時に相手からのデータが多く容量オーバーになったときに表示されます。
NO FORMAT	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードのフォーマットを行なってください（20ページ）。
NO IMAGE	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて削除して本機に画像が1枚もない状態では、画面にこのように表示されます。
RECORD ERROR	画像データ記録中に、圧縮不可状態のとき表示されます。アングルを変えて撮影し直してください。
REMAINING	現在の画質モードでは撮影できなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質モードを切り替えるか、一度削除の操作を行なう必要があります（75ページ）。

SAME FILENAME ALREADY EXISTS	画像をフォルダー間移動しようとしたときに、移動先フォルダーに同一のファイル名が存在した場合に表示されます。 移動先フォルダーを変えてください。
SYSTEM ERROR CALL TECH SUPPORT	本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。この表示が出た場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください（109ページ）。

主な仕様／別売品

主な仕様

記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠　(CF(コンパクトフラッシュ)カード記録時)
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
記録画素数	1280×960pixels／640×480pixels
記録枚数／画像ファイルサイズ(可変長)	S(1280×960)：標準88／14枚 (約500KB／枚) F(1280×960)：標準123／19枚 (約350KB／枚) N(1280×960)：標準206／33枚 (約200KB／枚) E(640×480)　：標準340／55枚 (約112KB／枚) ムービー(3.2秒)　：標準85／13組 (5コマ／秒、1画面4コマ×4枚) ムービー(6.4秒)　：標準85／13組 (10コマ／秒、1画面16コマ×4枚) ムービー(12.8秒)　：標準85／13組 (5コマ／秒、1画面16コマ×4枚) ※48MB／8MB　CFカード使用時
消去	1画面単位、フォルダー単位、全画面一括消去可能(メモリープロテクト機能付き)
撮像素子	1／3インチ正方画素原色CCD (総画素数:132万画素、有効画素数:125万画素)
レンズ	F2.8−3.5　f＝5.0−10.0mm (35mmフィルム換算　32〜64mm相当)
ズーム	光学ズーム　2倍／デジタルズーム　8倍　(光学ズーム併用時)*1
焦点調節	外部位相差検出方式オートフォーカス マニュアルフォーカス可能、 マクロモード、フォーカスロック付き
撮影可能距離(レンズ保護フィルター表面より)	標準：約0.25m〜∞、接写：約10cm (マニュアルフォーカスにより約10cm〜∞)
露出制御	測光方式： 撮像素子によるマルチパターン測光／スポット測光 制御方式： プログラムAE／絞り優先AE 露出補正： −2EV〜＋2EV　(1/4EV単位)
シャッター	CCD電子シャッター／メカシャッター併用 1/4〜1/1000秒 (夜景モード時のみ1秒)
絞り	F2.8〜F14　自動切替式、マニュアル切替可能
ホワイトバランス	自動／固定(4モード)／マニュアル切替可能
セルフタイマー	作動時間　10秒、2秒
内蔵フラッシュ	発光モード： 自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減機能、切替可能 フラッシュ撮影範囲：約0.7〜2m
撮影関連機能	単写撮影、セルフタイマー撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、タイマー撮影、タイトル撮影、接写撮影、モノクロ撮影、セピア撮影、スポーツ撮影、夜景モード撮影
モニター	2.5型TFT低反射カラー液晶(HAST) 122,100　(555×220)　画素
ファインダー	液晶モニター
時計機能	クォーツデジタル時計内蔵 日付・時刻　：画像データと同時に記録、画像データに写し込みも可能 自動カレンダー：2049年まで
入出力端子	デジタル入出力端子、外部電源端子、ビデオ出力端子(NTSC／PAL標準方式準拠)
赤外線通信	IrDA1.1準拠 (MAX 1.152Mbps) IrTran-P対応
電源	乾電池×4(単3型アルカリ電池およびリチウム電池)／充電池×4(単3型ニッケル水素蓄電池(NP-H3)*2)／ACアダプター(AD-C620J)

電池持続時間

以下の電池寿命持続時間は、標準温度(25℃)で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	単3型アルカリ電池　LR6	単3型リチウム電池　FR6
連続再生時	約 90分	約 190分
連続撮影時	約 190枚撮影可能	約 590枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業(株)製、リチウム電池は富士写真フィルム(株)製の場合の数値です。
電池持続時間はメーカーによって異なります。
連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに、各撮影につきズームレンズをテレ端〜ワイド端で1回動作させて撮影した場合の撮影可能枚数です。
フラッシュやズームの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。

消費電力	約7.2W
サイズ	幅140.5mm×高さ75mm×奥行き52.5mm(突起部を除く)
質量	約280g(電池含まず)
付属品	コンパクトフラッシュカード8MB、ショルダー／ハンド2wayストラップ、ソフトケース、ビデオコード、パソコンリンクソフトCD-ROM、アルカリ電池(LR6×4本)、取扱説明書(保証書付き)

*1 デジタルズーム時、画像サイズは640×480pixels
*2 電源について
- 充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池(Ni-MH)NP-H3をご使用ください。
  他の充電式電池については動作保証いたしかねます。
  ※本機には、時計用電池(ボタン型リチウム電池)が内蔵されております。電池が消耗しましたら、カシオテクノ・サービスステーションにて交換をしてください。
- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売品

- ACアダプター
  AD-C620J
- メモリーカード　CF-4x　(4MB)
  CF-8x　(8MB)
  CF-15x　(15MB)
  CF-30x　(30MB)
  CF-48x　(48MB)
- PCカードアダプター　CA-10
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット
  BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）
  NP-H3P4
- パソコンリンクケーブル
  NEC PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N
  IBM PC/AT互換機／PC98-NXシリーズ用：QC-1D
  Macintosh 用：QC-2MまたはQC-3M
  ※ 必ず、84ページの「パソコンリンクケーブルでの接続」をお読みください。
- QVカラープリンター
  DP-300
  DP-8000
  DP-8800SX